

# 官報

號外 昭和七年六月五日

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

(司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル件)

提出者 原 惣兵衛君 砂田 重政君 星島 二郎君

柳田宗一郎君 小林 錦君 手代木隆吉君 一松 定吉君

衆議院議員選舉法中改正法律案 提出者 (以上六月三日提出)

仁田大八郎君

清瀬 一郎君

（以上六月四日提出）

○第六十二回 帝國議會衆議院議事速記録第四號  
昭和七年六月四日(土曜日) 午後一時十二分開議  
議事日程 第三號 昭和七年六月四日 午後一時開議  
第一昭和七年法律第一號中改正法律案 (満洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

第一 告和七年法律第一號中改正法律案 (満洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件) (政府提出)	第一讀會
第二 昭和七年度一般會計歲出ノ財源 ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會
第三 行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退 官退職シタル者等ニ交付スル公債發 行ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會
第四 昭和七年度以降國債償還資金ノ 繰入一部停止ニ關スル法律案(政府 提出)	第一讀會
第五 國債ノ價額計算ニ關スル法律案 (政府提出)	第一讀會

昭和七年法律第一號中改正法律案 昭和七年法規第一號中左ノ通改正ス 改ム	第一讀會
昭和七年法規第一號中左ノ通改正ス 改ム	第一讀會

昭和七年法規第一號中左ノ通改正ス 改ム	第一讀會

昭和七年法規第一號中左ノ通改正ス 改ム	第一讀會

額ノ萬分ノ百十六以上ニ相當スル金額ノ繰入ヲ要スルノアリマスルガ、目下我國ノ財政ハ歲入ノ激減ヲ來シ、是ガ爲メ各會計ニ於テ多額ノ公債發行ヲ必要トスルニ至リマシタ、斯ル状況デアリマスルカラ、一方ニ於テ多額ノ公債ヲ募集シ、他方ニ於テ相當多額ノ公債償還ヲ行フヨリモ、寧ロ國債償還資金繰入ノ一部ヲ停止シテ、其金額ダケ起債額ノ減少ヲ圖ルコトヲ必要ト認メマシテ、當分ノ間國債總額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ノ繰入ハ、其三分ノ二以内ヲ減少シ、又一般會計ニ於ケル前々年度剩餘金ノ四分ノ一ニ相當スル金額ノ繰入ハ、全部之ヲ停止スルコトニ致シタ次第アリマス、尙ホ震災手形善後處理法第二條ニ依ル貸付ノ辨濟金ハ、當該年度ニ於テ收入ニ當ルモノ、全部ヲ國債償還資金ニ充當スル從來ノ方針ヲ持續スルコト、是ガ爲メ本法律案ニ第二項ヲ設ケタノアリマス。

日程第五、國債ノ價額計算ニ關スル法律案、此趣旨ヲ大略説明ヲ申上ゲマス、國債ノ時價ハ一般經濟界ニ於ケル金利ノ高低、政府財政上ノ必要ヨリ生ズル新規國債發行額ノ多少等ノ關係カラ、常ニ變動スルコト事情カラ相當價格ガ低落スルコトガアリマシテモ、間モナク其回復ヲ見ルノアリマス、隨テ少シ長イ期間ヲ見マスレバ、國債ニ付テハ一定ノ標準ノ價額ヲ以テ之ヲ財產目錄ニ記載スルコトヲ得ルコト、致シマシテモ大ナル不都合ヲ生ゼアルノミナラズ、是ガ爲ニ國債所有者ニ大ナル利便ヲ與ヘ、國債ノ發行ヲ容易ニシ、且ツ其價格維持ニ資スル所ガ多イノアリマス、仍テ國債ノ價額ヲ財產目錄ニ記載スル場合ニ、商法ノ財產評價ニ關スル規定ニ特例ヲ設クルコトヲ適當ト認メ、本案ヲ提出シタ次第アリ

各案共ニ何卒御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 各案共質疑ノ通告ハアリマセヌ、日程第六、右各案ノ審査ヲ付託スキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス——上

田孝吉君

第六 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○上田孝吉君 本案ヲ一括シテ議長指名二十一名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第七乃至第十八同種ノ議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第七、兌換銀行券條例中改正法律案、日程第八、日本銀行納付金法案、日程第九、日本銀行參與會法案、日程第十、資本逃避防止法案、右議案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——大藏大臣高橋是清君

第七 兌換銀行券條例中改正法律案 (政府提出)

第八 日本銀行納付金法案(政府提出)

第九 日本銀行參與會法案(政府提出)

第十 資本逃避防止法案(政府提出)

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

トス

日本銀行ハ前項ノ規定ニ依ル準備發行高ノ外十億圓ヲ限り政府發行ノ公債證書大藏省證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシ兌換銀行券ヲ發行スルコトヲ得

日本銀行ハ必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定ニ依ル發行高ノ外更ニ前項

日本銀行條例第十條中「十分ノ一」ヲ「二

日本銀行ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

日本銀行ハ前項但書ノ場合ニ於テ十六日以後ハ十億圓ヲ超過スル保證發行額

ニ對シ大藏大臣ノ定ムル割合ヲ以テ發行稅ヲ納ムベシ但シ其ノ割合ハ年三分

ヲ下ルコトヲ得ズ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

日本銀行納付金法

日本銀行納付金法

日本銀行ハ事業年度毎ニ純益金ヨリ左ニ掲タル金額ヲ控除シタル殘額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スベシ

一 拂込資本金額ニ對スル年六分ニ相當スル金額

二 日本銀行條例第十條ノ規定ニ依リ積立ツベキ金額ノ最少額ニ相當スル

日本銀行ハ事業年度毎ニ純益金ヨリ左ニ掲タル金額ヲ控除シタル殘額ヲ拂込資本金額ニ對シ年四分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ノ四分ノ三ヲ更ニ政府ニ納付スベシ

本法ニ依ル納付金額ハ所得稅法ニ依ル所

得及營業収益稅法ニ依ル純益ノ計算上之ヲ損金ニ算入ス

本法ニ依ル納付金額ハ前事業年度分ヲ八月末日、後事業年度分ヲ翌年二月末日限政

府ニ納付スベシ

本法ハ日本銀行昭和七年後事業年度分ヨリ之ヲ適用ス

明治三十二年法律第五十六號ハ昭和七年七月一日限之ヲ廢止ス但シ同日前ノ發行稅ニ關シテハ仍舊法ニ依ル

日本銀行條例第十條中「十分ノ一」ニ改ム

日本銀行參與會案

第一條 日本銀行ニ日本銀行參與會ヲ置キ日本銀行ノ重要ナル業務ニ關シ日本銀行總裁ノ諮詢ニ應ゼシム

第二條 日本銀行參與會ハ會長及日本銀行參與五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ日本銀行總裁ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 日本銀行參與ハ金融業若ハ產業ニ從事シ又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ大藏大臣之ヲ命ジ其ノ任期ヲ三年トス

第五條 日本銀行總裁ハ少クトモ毎月一回日本銀行參與會ヲ招集スベシ

第六條 日本銀行參與會ハ日本銀行ノ業務ニ關シ日本銀行總裁ニ意見ヲ述ブルコトヲ得

日本銀行參與ハ必要ト認ムルトキハ日本銀行參與二人以上ノ同意ヲ得テ日本銀行參與會ノ招集ヲ會長ニ請求スルコトヲ得

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

資本逃避防止法

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一條 政府ハ内外ノ情勢ニ依リ資本ノ内外移動ヲ取締ル爲必要ト認ムルトキハ命令ヲ以テ外國通貨及外國爲替ノ賣買、外國ニ對スル送金、外國通貨ヲ以

テスル預金取引及貸借、外國通貨表示ノ證券其ノ他ノ債權ノ賣買及輸入竝ニ外國居住者ニ對シ信用ヲ與フル行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前

條ノ禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ行フコトヲ得

第三條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ外國通貨、外國爲替又ハ外國通貨表示ノ證券其ノ他ノ債權ヲ有スル者ニ對シ之ヲ日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ニ賣却スペキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ賣却價額ハ外貨評價委員會ノ定

第四條 本法ニ基キテ發スル命令ヲ以テ規定スル取引又ハ行爲ノ禁示又ハ制限ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ一萬圓以下(若シ當該取引價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超エルトキハ當該取引價額ノ三倍以下)ノ罰金ニ處ス

本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル外國通貨其ノ他ヲ賣却スペキ旨ノ政府ノ命令從ハザル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ當該取引價額ノ二倍以下ノ罰金ニ處ス

本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ拒ミタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前條ノ罰

第六條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表金刑ヲ科ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
〔國務大臣高橋是清君登壇〕  
附則

○國務大臣(高橋是清君)只今議題トナリ

マシタ兌換銀行券條例中改正法律案、日本銀行納付金法案及ビ日本銀行參與會法案ニ付キ、一括シテ其提案ノ理由ヲ説明致シマス

我が財界ノ現状ヲ見マスルニ、其最モ憂ムル所ニ依ル

外貨評價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ賣却價額ハ外貨評價委員會ノ定

第四條 本法ニ基キテ發スル命令ヲ以テ規定スル取引又ハ行爲ノ禁示又ハ制限ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ一萬圓以下(若シ當該取引價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超エルトキハ當該取引價額ノ三倍以下)ノ罰金ニ處ス

本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル外國通貨其ノ他ヲ賣却スペキ旨ノ政府ノ命令從ハザル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ當該取引價額ノ二倍以下ノ罰金ニ處ス

本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ拒ミタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前條ノ罰

第六條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表金刑ヲ科ス

スルノ必要ナシト認メタノデアリマス、唯法施行地外ニ於テ、尙ホ制限外發行ヲ繼續ヲ適用ス

セントスル場合ニハ、大藏大臣ノ許可ヲ受

給ガ適當ニ保持セラル、ヤウニスルコト、

シタイト考ヘマス、而シテ將來金利ノ低下

アル場合ニ於テ、必支ナル通貨ノ供給ニ支

障ナカラシムル爲メ、制限外發行稅ノ稅率

ノ最低限度ニ付キ、現行年五分ヲ年三分ニ

不足シ、信用ガ收縮シテ居テハ、到底產業

ノ振興ヲ望ムコトハ困難デアリマス、之ニ

付キマシテハ我國ノ兌換銀行券發行制度

ルコトデアリマシテ、今日ノ如クニ通貨ガ

不足シ、信用ガ收縮シテ居テハ、到底產業

ノ振興ヲ望ムコトハ困難デアリマス、之ニ

付キマシテハ我國ノ兌換銀行券發行制度

ガ、我國經濟力ノ伸展著シキモノアルニ拘

ラズ、明治三十二年以來一度モ改正セラレ

ズ、今日ノ時代ニ適應スルノ機能ヲ缺イテ

居ルコトガ、最大ノ理由デアルト考ヘラレ

マス、即チ現行ノ兌換銀行券條例ニ依リマ

スレバ、保證發行限度ハ一億二千万圓デア

リマスル所、此限度ヲ以テシテハ、我國產

業ノ正當ナル取引ニ必要ナル通貨ヲ圓滑ニ

供給スル上ニ不便歟カラズ、加之正貨保有

高ハ一時ニ比べテ著シク減少シテ居リマス

ノデ、適當ニ保證發行限度ヲ擴張スルコト

ハ當面ノ急務デアリマス、而シテ近年ノ通

貨發行ノ狀況ヲ見マスルニ、通常ノ通貨需

要量ハ約十二億圓デアリマスルガ、將來ニ

テテハ通貨ノ需要量ハ自ラ増大スルコトア

セラレマスレバ、日本銀行ノ純益ハ著シク

ルガ故ニ、此兩制度ヲ廢止シテ、納付金制

度ヲ採用スルコトヲ適當ト認メタノデアリ

マス、殊ニ今回兌換銀行券發行制度が改正

致シタノデアリマス、唯本制度ヲ採用ニ依リ、日本銀行ノ負債ヲシテ、從前ニ比シ過

度ナラシメザルヤウ、納付金ノ率ヲ適當ニ

定メタノデアリマス、

第三ニ日本銀行參與會法案デアリマスル

ガ、今回兌換銀行券條例ニ改正ヲ加ヒマス

ス、元來資本ノ國際的移動ハ、平時ニ於テ

ハ自由タルベキ勿論デアリマスルガ、

資本ヲ保持スル爲メ必要ノ處置デアリマシ

テ、既ニ多數ノ國ノ實例ノ存スル所デアリ  
マス、然ルニ現在ニ於キマシテハ、資本ノ  
逃避ヲ取締ルベキ何等法規上ノ根據ガアリ  
マセヌカラ、今回之ニ關スル法律案ヲ提出  
スル次第デアリマス、而シテ法律ニ於キマ  
シテハ、取締ノ基本ヲ定メ、實行上ノ細目  
ハ命令ニ委任スルヲ以テ機宜ニ適スルモノ  
ト認メマシタ、又外債ノ發行、其他資本ノ  
流入ニ付キマシテモ、是ガ元利拂等ノ關係  
モアリ、其他資本ノ流出ト密接ナ關係ガア  
リマシテ、此際之ニ付テモ政府ニ監督權ヲ  
有セシムル必要ガアルト考ヘマス、何卒速  
ニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス  
(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマ  
ス、之ヲ許シマス——田中貢君

(田中貢君登壇)

○田中貢君 只今議題ニナシ居リマス諸  
案ニ付キマシテ、質疑ヲ致シタイト思ヒマ  
ス、再禁止以來、經濟界ノ跡始末ガ付テ居  
リマセヌデシタ、漸ク今日二三ノ跡始末ヲ  
スル爲ノ法案ガ出マシタコトハ、洵ニ喜ブ  
ベキコトデアリマス、併ナガラ其法案ガ果  
シテ其目的ヲ達成スルコトガ出來ルカ、即  
チ一二ノ疑問ヲ質シテ見タイト思ヒマス  
發券制度ト日本銀行制度ノ改善ニ付キマ  
シテハ、學界デ論議シ盡サレタ問題デアリ  
マス、又其問題ニ付テハ、高橋サンハ通ヲ  
以テ任ジテ居ラレル人デアリマスカラ、思  
切シタ改正案ヲ出サレルコト、思ヒマシタ、  
今日ノ日本ノ發券制度ト、日銀ノ制度トハ、  
世界デ一番古イモノデ、一番時代後レノモ  
ノデアリマシテ、少クトモ主要國ニ於テハ、  
斯ノ如キ後レタ制度ヲ有テ居ル國ハアリ  
マセヌ、其管理組織ニ付キマシテモ、發券  
ノ制度ニ付キマシテモ、亦其業務ノ規定ニ  
付キマシテモ、甚ダ後レテ居ルノデアリマ  
ス、然ルニ今日出サレマシタル案ハ、悉ク  
私達ノ豫想ヲ裏切りマシタ  
ソコデ第一ニ御聞キ致シタインハ、發券制

度ニ付テ、從來ノ屈伸制限法ヲ何方故ニ其  
儘維持セラレタカ、ソレカラ保證發行ノ銀  
度ヲ何故ニ三十億圓ニ擴張セラレタカ、其根  
シテハ、取締ノ基本ヲ定メ、實行上ノ細目  
ハ命令ニ委任スルヲ以テ機宜ニ適スルモノ  
ト認メマシタ、又外債ノ發行、其他資本ノ  
流入ニ付キマシテモ、是ガ元利拂等ノ關係  
モアリ、其他資本ノ流出ト密接ナ關係ガア  
リマシテ、此際之ニ付テモ政府ニ監督權ヲ  
有セシムル必要ガアルト考ヘマス、何卒速  
ニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス  
(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマ  
ス、之ヲ許シマス——田中貢君

(田中貢君登壇)

○田中貢君 只今議題ニナシ居リマス諸  
案ニ付キマシテ、質疑ヲ致シタイト思ヒマ  
ス、再禁止以來、經濟界ノ跡始末ガ付テ居  
リマセヌデシタ、漸ク今日二三ノ跡始末ヲ  
スル爲ノ法案ガ出マシタコトハ、洵ニ喜ブ  
ベキコトデアリマス、併ナガラ其法案ガ果  
シテ其目的ヲ達成スルコトガ出來ルカ、即  
チ一二ノ疑問ヲ質シテ見タイト思ヒマス  
發券制度ト日本銀行制度ノ改善ニ付キマ  
シテハ、學界デ論議シ盡サレタ問題デアリ  
マス、又其問題ニ付テハ、高橋サンハ通ヲ  
以テ任ジテ居ラレル人デアリマスカラ、思  
切シタ改正案ヲ出サレルコト、思ヒマシタ、  
今日ノ日本ノ發券制度ト、日銀ノ制度トハ、  
世界デ一番古イモノデ、一番時代後レノモ  
ノデアリマシテ、少クトモ主要國ニ於テハ、  
斯ノ如キ後レタ制度ヲ有テ居ル國ハアリ  
マセヌ、其管理組織ニ付キマシテモ、發券  
ノ制度ニ付キマシテモ、亦其業務ノ規定ニ  
付キマシテモ、甚ダ後レテ居ルノデアリマ  
ス、然ルニ今日出サレマシタル案ハ、悉ク  
私達ノ豫想ヲ裏切りマシタ  
ソコデ第一ニ御聞キ致シタインハ、發券制

度ニ付テ、從來ノ屈伸制限法ヲ何方故ニ其  
儘維持セラレタカ、ソレカラ保證發行ノ銀  
度ヲ何故ニ三十億圓ニ擴張セラレタカ、其根  
シテハ、取締ノ基本ヲ定メ、實行上ノ細目  
ハ命令ニ委任スルヲ以テ機宜ニ適スルモノ  
ト認メマシタ、又外債ノ發行、其他資本ノ  
流入ニ付キマシテモ、是ガ元利拂等ノ關係  
モアリ、其他資本ノ流出ト密接ナ關係ガア  
リマシテ、此際之ニ付テモ政府ニ監督權ヲ  
有セシムル必要ガアルト考ヘマス、何卒速  
ニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス  
(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマ  
ス、之ヲ許シマス——田中貢君

(田中貢君登壇)

○田中貢君 只今議題ニナシ居リマス諸  
案ニ付キマシテ、質疑ヲ致シタイト思ヒマ  
ス、再禁止以來、經濟界ノ跡始末ガ付テ居  
リマセヌデシタ、漸ク今日二三ノ跡始末ヲ  
スル爲ノ法案ガ出マシタコトハ、洵ニ喜ブ  
ベキコトデアリマス、併ナガラ其法案ガ果  
シテ其目的ヲ達成スルコトガ出來ルカ、即  
チ一二ノ疑問ヲ質シテ見タイト思ヒマス  
發券制度ト日本銀行制度ノ改善ニ付キマ  
シテハ、學界デ論議シ盡サレタ問題デアリ  
マス、又其問題ニ付テハ、高橋サンハ通ヲ  
以テ任ジテ居ラレル人デアリマスカラ、思  
切シタ改正案ヲ出サレルコト、思ヒマシタ、  
今日ノ日本ノ發券制度ト、日銀ノ制度トハ、  
世界デ一番古イモノデ、一番時代後レノモ  
ノデアリマシテ、少クトモ主要國ニ於テハ、  
斯ノ如キ後レタ制度ヲ有テ居ル國ハアリ  
マセヌ、其管理組織ニ付キマシテモ、發券  
ノ制度ニ付キマシテモ、亦其業務ノ規定ニ  
付キマシテモ、甚ダ後レテ居ルノデアリマ  
ス、然ルニ今日出サレマシタル案ハ、悉ク  
私達ノ豫想ヲ裏切りマシタ  
ソコデ第一ニ御聞キ致シタインハ、發券制

日本銀行ノ管理組織ヲ改メテ、總裁、副總裁ハ株主選出ノ理事ハシテ之ヲ選任セシメ、政府ガ之ヲ認可スル制度ニ改メテ、日銀ヲシテ政府ヨリ獨立セシムルコトガ必要デアル、其必要ハ差迫テ居ルト思テ居リマスガ、大藏大臣ハ何ト御考ニナリマスカ、承リタイノデアリマス

次ニ納付金ノ制度ニ付キマシテハ、私方之ニ贊成デアリマスガ、此制度ヲ日本銀行ノ昨年下半期ノ營業成績ニ當嵌メルトスト、日本銀行ハ何割ノ配當ニナルカガ承リタイ、一體日本銀行ノ配當ハ高過ギル、非常ナ特權ヲ持テ居テ、而モ確實ナ日本銀行ガ高率ノ配當ヲシテ居リマスノデハ、普通一般ノ銀行ハ日銀以上ノ配當ヲ目標トシマセヌケレバ株價ヲ維持スルコトガ出來マセカラ、高率ノ配當ヲスル、隨テ金利ガ高クナルトスウ思ヒマス、更ニ高率ノ配當ヲシマスコトハ、一般産業會社ニ對シテ高率配當ノ惡例ヲ示スコトニナル、斯くて日本銀行ノ高率ノ配當ヲスル、二重ノ害惡ヲ經濟界ニ流スモノト思テ居リマス、其見地カラスレバ、基本ノ配當ヲ六分ニシ、更ニ四分マデヲ許スト云フ、即チ合計一割デハ多過ギル

シテ、結構ダト思ヒマスガ、其權限ヲ見マスト、諸間ニ答ヘル、意見ヲ述べルダケデアリマス、是ダケノコトニ依テ産業界ト金融界ト連繫ガ、大藏大臣ノ豫期セラレル如ク出来ルカ否カ、更ニ一步ヲ進メテ何ガ故ニ株主ニアラザル重役ノ制度ヲ認メラレナカタカ、ソレヲ承リタイ

第二ニ選任ノ方法ヲ大藏大臣ニ一任サレテ居リマスガ、最近ノ政府ト日銀トノ關係ヲ見マスナラ、其選任ニ付テ、特ニ別ノ機關ヲ設ケルコトガ必要デハナイカト思ヒマス、尙ホ又金融界、產業界ノ方面ノ人ヲ抜クコトニナッ

テ居リマスガ、我國ニ於キマシテハ、大規模ノ企業ト云フモノハ極メテ僅カデアッテ、大數ハ中小ノ企業デアリマス、ソレニモ拘ラズ何ガ故ニ中小企業ト云フモノヲ考慮ニ入ル、其必要ハ差迫テ居ルト思テ居リマスガ、大藏大臣ハ何ト御考ニナリマスカ、承リタイノデアリマス

次ニ資本逃避防止法案ニ付テ承リタイノデアリマス、本案ハ過去ニ於ケル資本ノ逃避ノ復歸ト、新タル資本ノ逃避ヲ防止スルコトヲ目的トスルモノ、如クデアリマス、先づ過去ノ逃避資本、在外資金ノ復歸策ニ付テ承リタイ、今日ノ異常ナル入超ハ、再禁止當時ノ御豫想ト違タ、恐ロシク入超ノ原因ハ色々アリマセウケレドモ、過去ノ逃避資本ガ濟シ崩シニ物ニ成テ來ル、ソレガ最大原因デアルト考ヘラレル、ソコデ此恐ロシイ入超ヲ抑ヘルニハ、在外資金ヲ押ヘル外ハアリマセヌ、又今日恐ロシイ入超ヲ續ケテ居リマスニモ拘ラズ、爲替相場ガ今日ノ價格ヲ維持シテ居リマスノハ、在外資金ガ相當ノ恐ロシク不安ノ狀態ニアリマセウ、此爲替相場「ノーマル」ナ狀態ニ戻シマスニハ、在外資金ヲ押ヘルコトガ必要デアリマス、又今日ノ金融界ハ恐ロシク不安ノ狀態ニアリマス、其不安ヲ一掃スルコトノ出來ナイノハ、再禁止ニ依テ逃避資本ノ復歸ヲ絶望ナラシメタコトニアルト思ヒマス、是等ノ點カラ考ヘマスナラバ、異常ノ入超ヲ押ヘル爲ニモ、安ヲ一掃スルコトノ出來ナイノハ、再禁止ニ依テ逃避資本ノ復歸ヲ絶望ナラシメタコトニアルト思ヒマス、是等ノ點カラ考ヘマスナラバ、異常ノ入超ヲ押ヘル爲ニモ、又金

融界ノ不安ヲ一掃スル爲ニモ、又金日本ニ取戻スコトガ、再禁止直後直チニ、何ハ惜テ置キ、イノ一番ニ考ヘラルベキコトデアッタト思ヒマスガ、昨日ノ御演説ヲ承リマスト、最近少額ナガラ出で行ク、ソレガ繼續シテハ拋シテ置ケヌ、ソレデヤルノダト云フコトデアリマスガ、私ハ本案ヲ見マスナラバ、一條二條ヨリカ、寧ロ第三條ノ行ニ之ヲ買上げセシメルト致シマシテモ、其程度ニ付テノ御意見ヲ承

次ニ外國通貨ヲ以テスル預金ヲ何ガ故ニハ御調査ガアルモノト信ジマス、國別種類別ノ詳シイコトハ他日ノ機會ニ聽クト致シコトヲ見越シテ、外國人名義ニ變更スルカモ知レマセヌガ、之ヲ阻止スル用意ガ出來テアルカ、少クトモ在外資金ノ現在額ニ付テ

次ニ外國通貨ヲ以テスル預金ヲ何ガ故ニハ御調査ガアルモノト信ジマス、國別種類別ノ詳シイコトハ他日ノ機會ニ聽クト致シコトヲ見越シテ、外國人名義ニ變更スルカモ知レマセヌガ、之ヲ阻止スル用意ガ出來テアルカ、少クトモ在外資金ノ現在額ニ付テ

最後ニ過去ノ逃避資本ヲ日本ニ復歸サセル致シマシテモ、將來ノ資本逃避ヲ防止スルト致シマシテモ、本案ヲ以テシテハ私ハ不十分ダト思ヒマス、又假令詳細ナ規定ヲ設ケルトシマシテモ、絕無ナラシメルコトハ困難ダト思ヒマス、寧ロ自然ニ在外資金ガ歸シテ來ルナリ、新ナル資本ノ逃避ヲ阻止スル様ナ情況、條件ヲ持ヘテヤラナケレバナリマセヌ、今日金融界方著シク梗塞シテ居ル爲ニ、逃避資本ガ歸シテ居ルノデアリマス、茲ニ若シ通貨ノ異常ナ膨脹ヲヤリマスナラ、之ヲ阻止スルコトニナリマセウ、



間違テアル、ソレカラ資本逃避ノコトニ付テ色々御話ガアリマシタガ、ドウモ私共一細カニ記憶スルコトが出来マセヌガ、此中ニ無爲替テ送フタモノヲドウスルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、今日デハ日本ノ外債ガ非常ニ安いノデス、御承知ノ通り英米共ニ、外國人ニシテ今日日本ノ公債ノ買手ガナイノデス、始ドナイト言ウテ宜イ位、或ハ又新タニ金ヲ調達スル爲ノ抵當ニモ取ラズ、擔保品モ取ラヌ、サウ云フ狀況デアル、此日本ノ公債ノ外國ニ於テ價ノ下、タ、又人々ガ之ヲ危險視シテ持タナイト云フコトハ、彼等ノ一體財界ノ不況ノ結果デモアリマスルガ、今日我國が舉國一致ノ力ヲ以テ當テ居ル満洲上海事件、斯カ云フ事ガ誤ラレテ、認識ガ十分サレナイ爲ニ、日本ノモノニ手ヲ出サナクナッタ、サウ云フ場合デアリマスルカラ、算盤ヲ採フテ見ルト、内地ノ人ハ日本デ、今例ヘハ公債ヲ持ツトカ、或ハ株券ヲ持ツテモ、極ク確實ナ株券ニシテ見タ所デ、利廻リカラ考ヘテ見ルト、日本政府ノ外國ノ公債ヲ持ツタ方ガ利廻リハ確ニ好イ、一割乃至一割五分位ニ廻ルモノガアル、同ジク日本政府ノ公債ダカラ、外國デ發行シタモノデモ、寧ロ利廻リノ好イ方ガ宜イト云フノデ、ボツツソレ買フ人ガ出テ來テ居ル、昨今テハ餘リ多額ナ買物ハナイ、併ナガラ千圓二千圓乃至五千圓ト云フヤウナモノガ日々買ハレルヤウナ有様デアル、之ヲ捨テ、置ケバ中々大シタ高ニナリマスカラ、是等モ第一取締ラナケレバナラヌ、ソレカラ見越輸入、無爲替輸出、サウシテ又向フヘ其金ヲ置イテ置キハセヌカ、サウ云フモノハドウシテ取締ルカ、出來マイガト云ヤウナ御尋ダガ、是モ出來ルノデス、兎ニ角商賣上ニアラズシテ、苟モ日本ノ資本ヲ外國ニ移スト云フ倘ヲ持ツタモノハ、是ハ禁ズルノデス、ソレ故ニ御承知ノ通り罰則モ可ナリ重イコトニナッテ居ル、報告ヲセヌ者、報告ヲ偽ル者、

或ハソレヲ届出ナイ者、或ハ法律ニ背イタニテ色々御話ガアリマシタガ、ドウモ私共一細カニ記憶スルコトが出来マセヌガ、此中ニ無爲替テ送フタモノヲドウスルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、今日デハ日本ノ外債ガ非常ニ安いノデス、御承知ノ通り英米共ニ、外國人ニシテ今日日本ノ公債ノ買手ガナイノデス、始ドナイト言ウテ宜イ位、或ハ又新タニ金ヲ調達スル爲ノ抵當ニモ取ラズ、擔保品モ取ラヌ、サウ云フ狀況デアル、此日本ノ公債ノ外國ニ於テ價ノ下、タ、又人々ガ之ヲ危險視シテ持タナイト云フコトハ、彼等ノ一體財界ノ不況ノ結果デモアリマスルガ、今日我國が舉國一致ノ力ヲ以テ當テ居ル満洲上海事件、斯カ云フ事ガ誤ラレテ、認識ガ十分サレナイ爲ニ、日本ノモノニ手ヲ出サナクナッタ、サウ云フ場合デアリマスルカラ、算盤ヲ採フテ見ルト、内地ノ人ハ日本デ、今例ヘハ公債ヲ持ツトカ、或ハ株券ヲ持ツテモ、極ク確實ナ株券ニシテ見タ所デ、利廻リカラ考ヘテ見ルト、日本政府ノ外國ノ公債ヲ持ツタ方ガ利廻リハ確ニ好イ、一割乃至一割五分位ニ廻ルモノガアル、同ジク日本政府ノ公債ダカラ、外國デ發行シタモノデモ、寧ロ利廻リノ好イ方ガ宜イト云フノデ、ボツツソレ買フ人ガ出テ來テ居ル、昨今テハ餘リ多額ナ買物ハナイ、併ナガラ千圓二千圓乃至五千圓ト云フヤウナモノガ日々買ハレルヤウナ有様デアル、之ヲ捨テ、置ケバ中々大シタ高ニナリマスカラ、是等モ第一取締ラナケレバナラヌ、ソレカラ見越輸入、無爲替輸出、サウシテ又向フヘ其金ヲ置イテ置キハセヌカ、サウ云フモノハドウシテ取締ルカ、出來マイガト云ヤウナ御尋ダガ、是モ出來ルノデス、兎ニ角商賣上ニアラズシテ、苟モ日本ノ資本ヲ外國ニ移スト云フ倘ヲ持ツタモノハ、是ハ禁ズルノデス、ソレ故ニ御承知ノ通り罰則モ可ナリ重イコトニナッテ居ル、報告ヲセヌ者、報告ヲ偽ル者、

或ハソレヲ届出ナイ者、或ハ法律ニ背イタニテ色々御話ガアリマシタガ、ドウモ私共一細カニ記憶スルコトが出来マセヌガ、此中ニ無爲替テ送フタモノヲドウスルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、今日デハ日本ノ外債ガ非常ニ安いノデス、御承知ノ通り英米共ニ、外國人ニシテ今日日本ノ公債ノ買手ガナイノデス、始ドナイト言ウテ宜イ位、或ハ又新タニ金ヲ調達スル爲ノ抵當ニモ取ラズ、擔保品モ取ラヌ、サウ云フ狀況デアル、此日本ノ公債ノ外國ニ於テ價ノ下、タ、又人々ガ之ヲ危險視シテ持タナイト云フコトハ、彼等ノ一體財界ノ不況ノ結果デモアリマスルガ、今日我國が舉國一致ノ力ヲ以テ當テ居ル満洲上海事件、斯カ云フ事ガ誤ラレテ、認識ガ十分サレナイ爲ニ、日本ノモノニ手ヲ出サナクナッタ、サウ云フ場合デアリマスルカラ、算盤ヲ採フテ見ルト、内地ノ人ハ日本デ、今例ヘハ公債ヲ持ツトカ、或ハ株券ヲ持ツテモ、極ク確實ナ株券ニシテ見タ所デ、利廻リカラ考ヘテ見ルト、日本政府ノ外國ノ公債ヲ持ツタ方ガ利廻リハ確ニ好イ、一割乃至一割五分位ニ廻ルモノガアル、同ジク日本政府ノ公債ダカラ、外國デ發行シタモノデモ、寧ロ利廻リノ好イ方ガ宜イト云フノデ、ボツツソレ買フ人ガ出テ來テ居ル、昨今テハ餘リ多額ナ買物ハナイ、併ナガラ千圓二千圓乃至五千圓ト云フヤウナモノガ日々買ハレルヤウナ有様デアル、之ヲ捨テ、置ケバ中々大シタ高ニナリマスカラ、是等モ第一取締ラナケレバナラヌ、ソレカラ見越輸入、無爲替輸出、サウシテ又向フヘ其金ヲ置イテ置キハセヌカ、サウ云フモノハドウシテ取締ルカ、出來マイガト云ヤウナ御尋ダガ、是モ出來ルノデス、兎ニ角商賣上ニアラズシテ、苟モ日本ノ資本ヲ外國ニ移スト云フ倘ヲ持ツタモノハ、是ハ禁ズルノデス、ソレ故ニ御承知ノ通り罰則モ可ナリ重イコトニナッテ居ル、報告ヲセヌ者、報告ヲ偽ル者、

或ハソレヲ届出ナイ者、或ハ法律ニ背イタニテ色々御話ガアリマシタガ、ドウモ私共一細カニ記憶スルコトが出来マセヌガ、此中ニ無爲替テ送フタモノヲドウスルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、今日デハ日本ノ外債ガ非常ニ安いノデス、御承知ノ通り英米共ニ、外國人ニシテ今日日本ノ公債ノ買手ガナイノデス、始ドナイト言ウテ宜イ位、或ハ又新タニ金ヲ調達スル爲ノ抵當ニモ取ラズ、擔保品モ取ラヌ、サウ云フ狀況デアル、此日本ノ公債ノ外國ニ於テ價ノ下、タ、又人々ガ之ヲ危險視シテ持タナイト云フコトハ、彼等ノ一體財界ノ不況ノ結果デモアリマスルガ、今日我國が舉國一致ノ力ヲ以テ當テ居ル満洲上海事件、斯カ云フ事ガ誤ラレテ、認識ガ十分サレナイ爲ニ、日本ノモノニ手ヲ出サナクナッタ、サウ云フ場合デアリマスルカラ、算盤ヲ採フテ見ルト、内地ノ人ハ日本デ、今例ヘハ公債ヲ持ツトカ、或ハ株券ヲ持ツテモ、極ク確實ナ株券ニシテ見タ所デ、利廻リカラ考ヘテ見ルト、日本政府ノ外國ノ公債ヲ持ツタ方ガ利廻リハ確ニ好イ、一割乃至一割五分位ニ廻ルモノガアル、同ジク日本政府ノ公債ダカラ、外國デ發行シタモノデモ、寧ロ利廻リノ好イ方ガ宜イト云フノデ、ボツツソレ買フ人ガ出テ來テ居ル、昨今テハ餘リ多額ナ買物ハナイ、併ナガラ千圓二千圓乃至五千圓ト云フヤウナモノガ日々買ハレルヤウナ有様デアル、之ヲ捨テ、置ケバ中々大シタ高ニナリマスカラ、是等モ第一取締ラナケレバナラヌ、ソレカラ見越輸入、無爲替輸出、サウシテ又向フヘ其金ヲ置イテ置キハセヌカ、サウ云フモノハドウシテ取締ルカ、出來マイガト云ヤウナ御尋ダガ、是モ出來ルノデス、兎ニ角商賣上ニアラズシテ、苟モ日本ノ資本ヲ外國ニ移スト云フ倘ヲ持ツタモノハ、是ハ禁ズルノデス、ソレ故ニ御承知ノ通り罰則モ可ナリ重イコトニナッテ居ル、報告ヲセヌ者、報告ヲ偽ル者、

或ハソレヲ届出ナイ者、或ハ法律ニ背イタニテ色々御話ガアリマシタガ、ドウモ私共一細カニ記憶スルコトが出来マセヌガ、此中ニ無爲替テ送フタモノヲドウスルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、今日デハ日本ノ外債ガ非常ニ安いノデス、御承知ノ通り英米共ニ、外國人ニシテ今日日本ノ公債ノ買手ガナイノデス、始ドナイト言ウテ宜イ位、或ハ又新タニ金ヲ調達スル爲ノ抵當ニモ取ラズ、擔保品モ取ラヌ、サウ云フ狀況デアル、此日本ノ公債ノ外國ニ於テ價ノ下、タ、又人々ガ之ヲ危險視シテ持タナイト云フコトハ、彼等ノ一體財界ノ不況ノ結果デモアリマスルガ、今日我國が舉國一致ノ力ヲ以テ當テ居ル満洲上海事件、斯カ云フ事ガ誤ラレテ、認識ガ十分サレナイ爲ニ、日本ノモノニ手ヲ出サナクナッタ、サウ云フ場合デアリマスルカラ、算盤ヲ採フテ見ルト、内地ノ人ハ日本デ、今例ヘハ公債ヲ持ツトカ、或ハ株券ヲ持ツテモ、極ク確實ナ株券ニシテ見タ所デ、利廻リカラ考ヘテ見ルト、日本政府ノ外國ノ公債ヲ持ツタ方ガ利廻リハ確ニ好イ、一割乃至一割五分位ニ廻ルモノガアル、同ジク日本政府ノ公債ダカラ、外國デ發行シタモノデモ、寧ロ利廻リノ好イ方ガ宜イト云フノデ、ボツツソレ買フ人ガ出テ來テ居ル、昨今テハ餘リ多額ナ買物ハナイ、併ナガラ千圓二千圓乃至五千圓ト云フヤウナモノガ日々買ハレルヤウナ有様デアル、之ヲ捨テ、置ケバ中々大シタ高ニナリマスカラ、是等モ第一取締ラナケレバナラヌ、ソレカラ見越輸入、無爲替輸出、サウシテ又向フヘ其金ヲ置イテ置キハセヌカ、サウ云フモノハドウシテ取締ルカ、出來マイガト云ヤウナ御尋ダガ、是モ出來ルノデス、兎ニ角商賣上ニアラズシテ、苟モ日本ノ資本ヲ外國ニ移スト云フ倘ヲ持ツタモノハ、是ハ禁ズルノデス、ソレ故ニ御承知ノ通り罰則モ可ナリ重イコトニナッテ居ル、報告ヲセヌ者、報告ヲ偽ル者、

或ハソレヲ届出ナイ者、或ハ法律ニ背イタニテ色々御話ガアリマシタガ、ドウモ私共一細カニ記憶スルコトが出来マセヌガ、此中ニ無爲替テ送フタモノヲドウスルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、今日デハ日本ノ外債ガ非常ニ安いノデス、御承知ノ通り英米共ニ、外國人ニシテ今日日本ノ公債ノ買手ガナイノデス、始ドナイト言ウテ宜イ位、或ハ又新タニ金ヲ調達スル爲ノ抵當ニモ取ラズ、擔保品モ取ラヌ、サウ云フ狀況デアル、此日本ノ公債ノ外國ニ於テ價ノ下、タ、又人々ガ之ヲ危險視シテ持タナイト云フコトハ、彼等ノ一體財界ノ不況ノ結果デモアリマスルガ、今日我國が舉國一致ノ力ヲ以テ當テ居ル満洲上海事件、斯カ云フ事ガ誤ラレテ、認識ガ十分サレナイ爲ニ、日本ノモノニ手ヲ出サナクナッタ、サウ云フ場合デアリマスルカラ、算盤ヲ採フテ見ルト、内地ノ人ハ日本デ、今例ヘハ公債ヲ持ツトカ、或ハ株券ヲ持ツテモ、極ク確實ナ株券ニシテ見タ所デ、利廻リカラ考ヘテ見ルト、日本政府ノ外國ノ公債ヲ持ツタ方ガ利廻リハ確ニ好イ、一割乃至一割五分位ニ廻ルモノガアル、同ジク日本政府ノ公債ダカラ、外國デ發行シタモノデモ、寧ロ利廻リノ好イ方ガ宜イト云フノデ、ボツツソレ買フ人ガ出テ來テ居ル、昨今テハ餘リ多額ナ買物ハナイ、併ナガラ千圓二千圓乃至五千圓ト云フヤウナモノガ日々買ハレルヤウナ有様デアル、之ヲ捨テ、置ケバ中々大シタ高ニナリマスカラ、是等モ第一取締ラナケレバナラヌ、ソレカラ見越輸入、無爲替輸出、サウシテ又向フヘ其金ヲ置イテ置キハセヌカ、サウ云フモノハドウシテ取締ルカ、出來マイガト云ヤウナ御尋ダガ、是モ出來ルノデス、兎ニ角商賣上ニアラズシテ、苟モ日本ノ資本ヲ外國ニ移スト云フ倘ヲ持ツタモノハ、是ハ禁ズルノデス、ソレ故ニ御承知ノ通り罰則モ可ナリ重イコトニナッテ居ル、報告ヲセヌ者、報告ヲ偽ル者、



第五百四十九號ヲ左ノ如ク改ム

五四九

醫療器、オーソペヂクインストルーメント及  
同部分品(別號ニ掲ケサルモノ)

一 陶齒

甲 金屬製ノ釘ヲ用キタルモノ  
イ 貴金属ヲ用キタルモノ

ロ 其ノ他

二 其ノ他

第五百六十四號中「三割」ヲ「四割二分」ニ改ム  
第五百七十七號ヲ左ノ如ク改ム

五百七十七號

内燃機關

一 自動車用ノモノ及自轉車用ノモノ

二 其ノ他

甲 一箇ノ重量百キログラムヲ超エサルモノ

乙 一箇ノ重量二百五十キログラムヲ超エサルモノ

丙 一箇ノ重量千キログラムヲ超エサルモノ

丁 一箇ノ重量一千五百キログラムヲ超エサルモノ

戊 一箇ノ重量一萬キログラムヲ超エサルモノ

己 一箇ノ重量五萬キログラムヲ超エサルモノ

庚 其ノ他

	從 價	三割五分	
		每百箇	每百箇
	從 價	二五 割	二五 割
一四九	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
一五五	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
一五六	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
一五九	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
二五九	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
二五九ノ二	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
三六二	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇
二其ノ他	一七七〇	三〇・〇〇	二〇・〇〇

	品	番號	(別表)輸入表
小麦	一六	一八	高粱
玉蜀黍	一九	二二	穀粉及澱粉類
小麥粉	一	五三	バター、人造バター及ギ-
コンデンスドミルク	四五	五四	パラフィン
乙 其ノ他	一	融解點攝氏四十五度ヲ超エサルモノ	一
黃燐、赤燐及硫化燐		一四九	
クロール酸カリ		一七六	
カーボンブラーク		二五五	
ビッチ及アスフルト		二五九	コールタール、ビッチ又ハアスフルトノ製品ニシテ道路修築用ノモノ
印刷料紙		三六二	
二其ノ他			二其ノ他
イ 一平方メートルノ重量五十八グラムヲ超エサルモノ			乙 其ノ他
石絨及別號ニ掲ケサル石絨製品			イ 一平方メートルノ重量五十八グラムヲ超エサルモノ
甲 謙誤入ノモノ			甲 銑鐵
四一八			四六二 鐵別號ニ掲ケタル特殊鋼ヲ除ク
二 絲			四六二 甲 銑鐵
三 板			四六二 四 ワイヤロッド(卷キタルモノ)
四 其ノ他			四六二 四 マグネシウム
四六三ノ二			四六三ノ二 四 叢物(別號ニ掲ケサルモノ)
四九九			四九九 二 其ノ他
二 其ノ他			丙 剃刀
八 其ノ他			丙 剃刀
八 其ノ他			ロノ一 安全剃刀用ノ刃
五七七			本法ノ別表ニ掲グルモノノ從量稅率ハ此
五七七			ノ限ニ在ラズ
五七七			前項ノ規定ニ依ル從量稅率ニ一錢未滿ノ
五七七			端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ
五七七			本法ノ別表ニ掲グル物品ニシテ

輸入稅率ノ從量稅率ニ關スル法律案  
關稅定率法別表輸入稅率ニ定メタル從量  
稅率ハ當分ノ内之ヲ其ノ百分ノ百三十五  
トス但シ同輸入稅表ニ掲グル物品ニシテ

附 則  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ別表ニ掲グルモノノ從量稅率ハ此  
ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル從量稅率ニ一錢未滿ノ  
端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

<p>五四九 醫療器、オーネペヂックインストルーメント及同部分品(別號ニ掲ケサルモノ)</p> <p>六〇五 機械部分品(別號ニ掲ケサルモノ)</p> <p>六〇五 二 ロール及ローラー</p> <p>六一二 木材</p> <p>六一二 一 單ニ切り、挽キ又ハ割リタルモノ</p> <p>六一二 二 己 パイン、ファー、シダー其ノ他ノ針葉樹</p> <p>六一二 三 己ノ五 其ノ他(ドグラスファー等)</p> <p>六一二 四 イ 厚六十ミリメートルヲ超エサルモノ</p> <p>六一二 五 ロ 厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ</p> <p>六一二 六 ハ 厚二百ミリメートルヲ超エタルモノ</p> <p>六一二 七 丸太及割材</p> <p>六一二 二 ニノ一 其ノ他</p> <p>六三二ノ二 脣及故ノセリュロイド(改造用ノミニ適スルモノ)</p>
<p>(國務大臣高橋是清君登壇)</p> <p>○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリ マシタ關稅定率法中ノ改正法律案ノ説明ヲ致シマス、政府ハ改正法律案ニ掲ガラレテ居リマスル各物品ニ關スル輸入稅改正ノ要否ニ付キ、曩ニ關稅調查委員會ニ諮問致シマシタ所、成案ヲ得マシタノデ、茲ニ本改正法律案ヲ提出致シタ次第アリマス、改正案ノ品目ハ小麥、銑鐵等二十九品デアリ居リマスル各物品ニ關スル輸入稅改正ノ要否ニ付キ、曩ニ關稅調查委員會ニ諮問致シマシタ所、成案ヲ得マシタノデ、茲ニ本改正法律案ヲ提出致シタ次第アリマス、改正案ノ説明ヲ致シマス、政府ハ、外國爲替相場ノ現狀ニ鑑ミマシテ考慮ヲ拂フノ必</p>
<p>ル目的ヲ以テ、本改正法律案ヲ提出シタノデアリマス、尙ほ詳細ナル點ニ付テハ委員會ニ於テ御説明ヲ致ス考デアリマス、御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス</p>
<p>日程第十三ノ輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案ノ説明ヲ致シマス、政府ハ、外國爲替相場ノ現狀ニ鑑ミマシテ考慮ヲ拂フノ必</p>
<p>要アリヤ否ヤ、茲ニ之ニ關スル具體案ニ付キマシテ、曩ニ關稅調查委員會ニ諮問致シマシタ所、成案ヲ得マシタノデ、茲ニ本改正法律案ヲ提出致シタ次第アリマス、御承知ノ通リ從來我國ノ輸入稅表ニ於テハ、從價</p>

稅率ト從量稅率トガ併セ用ヒラレテ居ル、現行ノモノニ於テハ、稅率ノ大部分ハ從量稅率ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ外國爲替相場ノ現狀ニ鑑ミマスト、輸入品ノ價格ハ騰貴ヲ免レナイ狀態ニアリマスガ、斯ノ如キ狀態ノ下ニ於テハ、輸入品ノ價格ノ對スル關係上從價稅率ト從量稅率トハソレゾレ趣ト異ニスル點ガ著シク現ハレテ來ノデアリマス、仍テ右ノ關係ヲ調節スル爲替相場ノ現狀ニ鑑ミマスト、輸入品ノ價格は、此際應急ノ處置トシテ從量稅率ヲ增加スルノガ適當デアルト認メマス、而シテ其增加ノ程度ハ、外國爲替相場ノ狀況等ヲ斟酌シテ、三割五分ヲ相當ト認メタ次第アリマス

次ニ此法案ト關稅定率法中改正法律案トノ關係デアリマスガ、關稅定率法中改正法律案ノ方ハ、之ニ依テ輸入稅表ニ定メテアリマス稅表中、適當デナイト認メタモノニ付テ改正ヲ行ハントスルモノニアリマシテ是等ノ改正稅率ニ付テハ、既ニ右ノ調節ノ關係ヲモ考慮ニ入レテ居ルノデアリマスカラ、其中ノ從量稅率ハ、本改正法律案ニ付ル稅率增加ノ範圍外ニ之ヲ置イタノデアリマス、尙ホ右ノ外新聞用紙ノ稅率ハ、文化普及上等ヨリ見テ、特別ニ取扱フベキ理由ガアリト認メマシテ、特ニ例外ノ中ニ加ヘマシタ、其他詳細ナル點ニ付キマシテハ委員會ニ於テ御説明ヲ致スコトニ致シタニ、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス、中島彌團次君

(中島彌團次君登壇)

ソレデ結構デアリマス  
大藏大臣ガ昨日ノ此壇上ニ於テ御説明サ  
レマシタ所ニ依リマスト云フト「世界經濟  
ノ大勢ヲ見マスルニ、不況ノ深刻ナルニ從  
ヒ、各國何レモ先づ内ヲ整ヘルコトヲ根本  
トシ、輸入ヲ防遏シテ國內產業ノ發達ヲ圖  
ラントスル傾向ガ顯著デアリマシテ、各國  
舉ツテ外國物資ニ對シテ高率ノ關稅ヲ賦課  
スルノミナラズ、國ニ依ツテハ更ニ進ンデ貿  
易ノ管理、又ハ特定商品ノ輸入禁止ヲ行フ  
モノサヘモアルノデアリマス、各國ノ情勢  
ガ斯ノ如クデアルノミナラズ、我國ノ現狀  
ヨリスルモ、此際出來得ル限り輸入ヲ防遏  
スルト共ニ、國內產業ヲ保護助長スルコト  
ハ最モ必要デアリマスカラ、政府ハ緊急  
ノ必要アリト認ム輸入品ニ付キ、關稅率  
ノ引上ゲラ行フコト、致シマシタ」斯ウ云  
フ意味デ、政府ニ於キマシテハ二十九品  
ニ瓦ツテ關稅率ノ引上ゲラ行フト同時ニ、  
從價稅ト從量稅トノ均衡ヲ保タシメンガ  
爲ニ、從量稅ニ對シマシテ一律一體ニ  
三割五分引上ゲルト云フノガ、今度提案  
サレマシタ關稅改正デアルト私ハ解釋致シ  
マス、此時ニ於キマシテ、私共ガ先づ第一  
ニ御尋ヲ申上ゲタイノハ、爲替ガ三割五分  
下ッタガ故ニ、從量稅品ヲ一律一體ニ何故ニ  
三割五分引上ゲタノカ、此點ニ付テ非常ニ  
私共ハ疑問トシテ居ル譯デアリマス、固ヨ  
リ私共ハ與黨デアリマスカラ、本案ニ對シ  
マシテ反對スルト云フ意味デ質問スルノデ  
ハアリマセヌ、併ナガラ關稅改正ノ如キ、  
國民生活ニ對シテ重大ナル利害關係ヲ有シ  
マスル問題ニ付キマシテハ、吾々ハ野黨ノ  
立場ヲ以テ質問センケレバナラスト云フコ  
トヲ痛切ニ感ズル次第デアリマス、ソコデ  
三割五分ダケ何故ニ從量稅ニ對シテ關稅ノ  
引上ヲヤルゴトニナツタカト云フコトガ、私  
共大變ニ理解スルニ苦ム次第デアリマス、  
是ヨリ前ニ申上ゲテ見タイノハ、我國ノ輸  
入貿易品ヲ大體ヲ觀察致シテ見マスルニ、

無稅品ト從量稅品ト從價稅品トノ三ツニナツテ居リマスルガ、無稅品が品數ニ於テハ百八十一デアッテ、從量稅品ハ品數ニ於キマシテ九百七十七デアリマシテ、從價稅品ハ五百三十四デアリマス、品數カラ見マスルト云フト、從價稅ハ五百三十四デアッテ、相當ノ數量ヲ占メテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、昭和六年ニ於ケル輸入金額カラ觀察致シテ見マスナラバ、無稅品ガ四割九分八厘ヲ占メテ、殆ド我國ノ貿易品ノ五割ニ近イ金額ヲ占メ、サウシテ從量稅ガ三割九分ニナツテ居リマシテ、從價稅ハ僅ニ三分九厘、殆ド「バー セン テージ」ニ掛ルカ掛ルナイカノヤウナ程度デアリマシテ、統計上從價ト從量トヲ區別スルコトガ因難デアル、雜品ガ六分六厘デアリマス、斯ノ如ク從價稅ト云フモノハ、貿易全額カラ言ウタナラバ微タルモノデアリマシテ、僅ニ八分九厘ヲ占メテ居ル關係デアリマス、而シテ從量稅品ノ大部分ヲ見テ見マスルト、生活ノ必要品ニアラズンバ工業ノ原料、材料デアリマシテ見マスルナラバ、豆類ガ三千七百万圓デアッテ、小麥ガ三千五百万圓、砂糖ガ一千五百萬圓、鳥獸肉ガ九百五十萬圓、鹹魚ガ一千万圓、礦油ガ八千五百万圓、ソレカラ木材ガ四千三百万圓、毛織絲ガ一千五百万圓、綿織絲ガ一千五百万圓、製紙用「バルブ」ガ一千一百萬圓、鐵ガ一千一百萬圓——

鐵ハ全體デ四千八百万圓ニナツテ居リマシテ從量稅品ノ中ヲ觀察シマスレバ、今申上ゲマシタ如クニ、生活ノ必要品カ、然ラズンバ工業ノ原料材料デアル、斯ウ云フ點カラ觀察致シテ見マスルナラバ、一律一體ニ三割五分ダケ引上ゲルト云フコトハ、何ヲ意味スルカト申シマスルト云フト、物價ヲ騰貴セシメテ、國民生活ヲ脅威シ、社會思

想ヲ危險ナラシムルト云フ點ニ付テ非常ナル心配ニ堪ヘナインデアリマス、更ニモウ一ツノ心配ハ、輸入ハ防遏シ得マシテモ、工業ノ原料、材料品ニ重謀スルト云フコトハ、輸出ヲ妨害スルヤウナ點ニ立到<sup>シテ</sup>來ハセヌカト云フコトノ心配ガアリマス、大藏大臣ハ昨日ノ御説明ニ於キマシテ、外國ニ於テハ盛ニ關稅戰行ハレテ、輸入ヲ防遏致シ、輸出ヲ獎勵スルコトニ努力シタ、ソレデ關稅ヲ引上ゲナケレバナラヌト申サレマスケレドモ、日本ノ國ノヤウニ無稅品ガ半分以上ヲ占メテ居リマスルガ、從量稅品ガ半分ヲ占メテ居ルト云フヤウナ國デアリマシタナラバ、是ハ外國ト餘程事情ヲ異ニシテ居リマス、大體政友會ノ方々ハ、保護關稅主義ヲ非常ニ盛ニ唱ヘラレテ居リマスルガ、貿易全體カラ考ヘテ見マシテ、保護ダケニ力ヲ入れテ、輸入ハ防遏シ得テモ、輸出ガ獎勵サレスト云フコトニナツテ來マスト、是ハ根本ヲ誤ルモノデナイカト私ハ考ヘマス、固ヨリ輸出品ニ對スル原料、材料ニ付キマシテハ、戻稅ノ制度モアリマスシ、又保稅倉庫ノ制度モアリマスケレドモ、是トテ矢張稅額ニ相當スル公債擔保ヲ提供センケレバナラヌ制度デアリマスカラ、其點カラ考ヘマスト云フト、輸出商人ニ對シマシテハ、必シモ輸出ノ原料材料ガ無稅ニナルト云フコト云FT、輸入ハ防遏シ得テモ、輸出商人大藏大臣ハ云フコトニ對シテ、私共ガ疑問ヲ持<sup>テ</sup>居ル所不景氣ヲ回復シ、產業ヲ保護スル上ニ於テスママイ、殊ニ此關稅戰ガ下火ニナラントスル時ニ當<sup>テ</sup>、日本ノ國ガ再び遲<sup>シ</sup>ニ此關稅戰ノ仲間入ヲスルト云フコトハ、却テ不景氣ヲ回復シ、產業ヲ保護スル上ニ於テドンナモノデアラウカ、私共餘程此點ニ對シテ疑問ヲ持<sup>テ</sup>居ル次第<sup>アリマスカラ</sup>、私共ノ先輩デアル所ノ高橋大藏大臣ノ御教示ヲ受ケタク考ヘテ居ル次第<sup>アリマス</sup>、輸入平均價格ヲ捉ヘナカ<sup>シテ</sup>カト云フ點ニ付テ御教示ヲ承リタク、私共ノ考テハ高橋藏相モ、今田中君ノ質問ニ對スル御答辯ハ、何故ニ大藏大臣ハ爲替<sup>シ</sup>下タ率ヲ捉ヘテ、云フコトニ對シテ、私共ガ疑問ヲ持<sup>テ</sup>居ル所<sup>ハ</sup>、何故ニ大藏大臣ハ爲替<sup>シ</sup>下タ率ヲ捉ヘテ、

アリマス、私共ノ考テハ、三割五分爲替ガ下<sup>シ</sup>テ居リマスケレドモ、物價ハ三割五分ノ心配ハ、輸入ハ防遏シ得マシテモ、工業ノ原料、材料品ニ重謀スルト云フコトハ、輸出ヲ妨害スルヤウナ點ニ立到<sup>シテ</sup>來ハセヌカト云フコトノ心配ガアリマス、大藏大臣ハ昭和六年十一月トノ重要ナル輸入品ニ付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、礦油、苛性曹達、曹達灰、天然曹達、硫酸<sup>アシ</sup>付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、礦油、苛性曹達、曹達灰、天然曹達、硫酸<sup>アシ</sup>付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、礦油、苛性曹達、曹達灰、天然曹達、硫酸<sup>アシ</sup>付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、礦油、苛性曹達、曹達灰、天然曹達、硫酸<sup>アシ</sup>付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、礦油、苛性曹達、曹達灰、天然曹達、硫酸<sup>アシ</sup>付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、礦油、苛性曹達、曹達灰、天然曹達、硫酸<sup>アシ</sup>付キマシテ、ドレダケ輸入平均價格ガ騰貴シテ居ルカラ見テ見マスルニ、豆類ニ、砂糖ニ、生牛乳ニ「コンデンスミルク」ニ、

アリマス、私共ノ考テハ、三割五分爲替ガ下<sup>シ</sup>テ居リマスケレドモ、物價ハ三割五分ノ心配ハ、輸入ハ防遏シ得マシテモ、工業ノ原料、材料品ニ重謀スルト云フコトハ、輸出ヲ妨害スルヤウナ點ニ立到<sup>シテ</sup>來ハセヌカト云フコトハ、藏相自身ノ答辯ト矛盾<sup>シテ</sup>居ルト云フコトハ、藏相自<sup>シ</sup>身ノ答辯ト矛盾<sup>シテ</sup>居ルト云フコトハ、高橋藏相ハ爲替<sup>シ</sup>下タ率ニ對シマシテハ、高橋藏相ハ爲替<sup>シ</sup>下タ率ニ對シマシテハ、高橋藏相モ、今田中君ノ質問ニ對スル御答辯ハ、何デアリマスカラ、私共ハ數字ヲ擧ゲテ茲ニ申上ゲマスカラ、此點ニ付テ御親切ニ御答下サランコトヲ希望致シマス、ソレハ品目ノ選定ノ方法ニ依<sup>テ</sup>異ルデ





斯ウ云フヤウナ内閣デアテコソ、初メテ  
増税ヲ私ハヤリ得ルト考ヘル、政黨内閣ナ  
ラバ選舉區ノ御遠慮モアリマスシ、世間ノ  
人氣ト云フコトモアリマセウ、斯ウ云フヤ  
ウナ點カラ考へマシタナラバ、増税ヲヤル  
ニハ政友會、民政黨方援ケタ所ノ擧國一致  
内閣、即チ齊藤大將ノ内閣ガ最モ適當デア  
内閣私ハ考ヘル、此點ニ鑑ミマシテ、關稅ト  
公債ノミニ財政ノ收支ヲ合スコトニ依ラ  
ズシテ、何故ニ増税計畫ヲ立テナイカ、民  
政黨ニ立テ、ヤツタ位ナモノデモ宜シイ、ア  
レ位ナモノヲドウシテ實行シナイカ、私共  
ハ此點ニ付キマシテ洵ニ不思議ニ感ズル次  
第ニアリマス、英國ニ於テモ、米國ニ於テ  
モ、皆私ノ言フ通り之ヲ實行シテヤッテ居ル  
ソレカラ細カイ問題ニ付キマシテハ委員  
會ニ於テ申上ゲマスルガ、次ハ銑鐵ノ問題  
デアリマス、銑鐵ノ關稅ノ引上率ガ非常ナ  
大キナ率ニナツテ居リマシテ、百斤十錢ダケ  
ハ驚キマシタ、昭和六年ニハ九十二万噸ダ  
ケ内地生産ガアツテ、朝鮮ニ十五万噸、滿洲  
ニハ四十萬噸、合計百四十萬噸アリマス、  
ソレカラ輸入ニ付キマシテハ、昭和四年ニ  
六十五万噸デアツテ、昭和六年ニハ四十萬  
噸、内二十四万噸ガ滿洲カラ來テ、内十五  
万噸ガ印度カラ來テ居ル、銑鐵關稅引上  
問題ノ根本ハ、此十五万噸ノ印度ノ問題デ  
ス、印度ノ「バー」カラ來ル所ノ銑鐵ニ對  
シテ關稅ヲ課ケルト云フコトガ、今度ノ問  
題ノ根本デアルト私ハ解釋致シマス、サウ  
シテ政府ノ調ニ依リマスルト云フト、需要  
ノ需要ヲ、生産ヲ以テ自給自足ガ出來ルト  
言ウテ居ル、是レ非常ナ見解ノ誤リデアリ  
マシテ、二百十万噸ノ鐵ハ、ソレハ今日ノ熔

鑄爐カラ換算ヲシマシタ鐵ノ供給ノ數量デ  
アリマシテ、休ンデ居ル所ガ澤山アリマス、  
是モ皆火ヲ入レテシマヘバ、無論二百十万  
噸ハ出來マセウ、出來マセウガ、此火ヲ消  
シテ居ル所以ガ何處ニアルカト言フタナラ  
ベ、生産費ガ高クテ價格ガ安イカラ償ハナ  
イ、儲ケガナイカラ火ヲ消シテシマウテ居  
ル、生產能力二百十万噸ト計算スルコトガ  
根本ノ誤リデアルト私ハ考ヘル、隨テ自給  
自足ノ能力ガ有ルカ無イカト云フコトガ又  
問題ニナツテ來マス、ソコデ十五万噸ノ印度  
カラ來テ居ル鐵ニ對シテ課稅シテ、非常ノ  
重率ヲ課スルコト、ナツテ居リマスルガ、政  
府關稅改正ノ引上理由ヲ見マスルト云フ  
ト、市價ガ下落シテ居ル、故ニ製鐵事業者  
ガ採算ガ不良ダト云フノガ一ツノ原因、外  
國銑鐵ニ壓迫サレルト云フコトガ其二ノ原  
因、銑鐵ハ基礎工業ナルガ故ニ、之ヲ放任  
スル時ニ於テハ潰滅スル、故ニ開稅ヲ引上  
ゲテ、外國品ノ輸入ヲ防遏スルト云ウテ居  
ル、成程銑鐵ノ事業ハ基礎工業ニ違ヒアリ  
マセヌ、日本ニ於テモ是ハ關稅ヲ改正シテ  
引上ゲテ、之ヲ保護スルカセスカ、前々内  
閣ニ於キマシテモ、幾度カ此問題ハ研究シ  
タル重大ナル問題デアリマス、所ガ今日ニ於  
キマシテハ結局關稅ヲ改正セズシテ、一  
頓一圓六十七錢ノ稅金ヲ課ケ、更ニ四圓餘  
額ト云フモノガ、範擇ニ私共ハ考ヘ  
マスルガ、政府ノ調ニ依リマスルト云フ  
ト、昭和五年二月一日ノ調ニハ、四十六圓  
三十六錢トナツテ居ルノデス、四十六圓三十  
六錢トナツテ居リマシテ、是ハ鐵鑄石ト「コー  
クス」ト「マンガン」、石灰石、勞力費、雜費、利  
益及償却、此合計ガ四十六圓三十六錢トナ  
ツテ居リマス、此四十六圓三十六錢ト云フモノガ、  
昭和五年ノ生產費デアリマスルカラ、ソレ  
カラ物價ガ一割三分下ブテ居リマスルカラ、  
大體物價ノ下リ工合ヲ見テ、政府ノ調ヲ想  
マス、此四十圓三十三錢ト云フ生產費ガ、  
シテ見マスルト云フト、六圓三錢ヲ引ケ  
シテ關稅ヲ課ケルト云フコトガ、今度ノ問  
題ノ根本デアルト私ハ解釋致シマス、サウ  
シテ政府ノ調ニ依リマスルト云フト、需要  
ノ需要ヲ、生産ヲ以テ自給自足ガ出來ルト  
言ウテ居ル、是レ非常ナ見解ノ誤リデアリ  
マシテ、二百十万噸ノ鐵ハ、ソレハ今日ノ熔

ガ十四二十二錢ニ相當スルヤウナ關稅改  
正セニヤナラヌ理由ガ何處ニアルカト云フ  
コトヲ、私ハ御尋シテ見タイ  
此點ニ付キマシテハ中島商工大臣ニ對シ  
テ御答辯ヲ煩ハシタインデアリマスルガ、  
政府ニ調ヘテ居ル、所ガ採算ガ取レナイト云  
フ、關稅改正ノ諸問題案ノ説明ニ依リマシ  
テモ、銑鐵ニ付テハ今日下落シテ銑鐵業者  
ガ採算ガ取レナイト云フコトヲ言フテ居ル、  
算盤ガ引合ハナイト云フコトヲ言フテ居ル、  
其算盤ノ引合ハナイト理由ハ何處ニアルカト  
申シマスルト云フト、是ハ少シ細カクナツテ  
参リマスカラ、委員會ニ於テ詳シイコトハ  
論ジマスルガ、問題ハ要スルニ生産費ノ問題  
デアリマス、今日政府ノ昭和五年二月二日ニ  
於テ調べラレマシタ生産費ハドレ位ニナツ  
テ居ルカト申上ゲマスルト云フト、此生産  
費ト云フモノガ、範擇ニ私共ハ考ヘ  
マスルガ、政府ノ調ニ依リマスルト云フ  
ト、昭和五年二月一日ノ調ニハ、四十六圓  
三十六錢トナツテ居ルノデス、四十六圓三十  
六錢トナツテ居リマシテ、是ハ鐵鑄石ト「コー  
クス」ト「マンガン」、石灰石、勞力費、雜費、利  
益及償却、此合計ガ四十六圓三十六錢トナ  
ツテ居リマス、此四十六圓三十六錢ト云フモノガ、  
昭和五年ノ生產費デアリマスルカラ、ソレ  
カラ物價ガ一割三分下ブテ居リマスルカラ、  
大體物價ノ下リ工合ヲ見テ、政府ノ調ヲ想  
マス、此四十圓三十三錢ト云フ生產費ガ、  
シテ見マスルト云フト、六圓三錢ヲ引ケ  
シテ關稅ヲ課ケルト云フコトガ、今度ノ問  
題ノ根本デアルト私ハ解釋致シマス、サウ  
シテ政府ノ調ニ依リマスルト云フト、需要  
ノ需要ヲ、生産ヲ以テ自給自足ガ出來ルト  
言ウテ居ル、是レ非常ナ見解ノ誤リデアリ  
マシテ、二百十万噸ノ鐵ハ、ソレハ今日ノ熔

ガ十九圓二十二錢ニ相當スルヤウナ關稅改  
正セニヤナラヌ理由ガ何處ニアルカト云フ  
コトヲ、私ハ御尋シテ見タイ  
此點ニ付キマシテハ中島商工大臣ニ對シ  
テ御答辯ヲ煩ハシタインデアリマスルガ、  
政府ニ調ヘテ居ル、所ガ採算ガ取レナイト云  
フ、關稅改正ノ諸問題案ノ説明ニ依リマシ  
テモ、銑鐵ニ付テハ今日下落シテ銑鐵業者  
ガ採算ガ取レナイト云フコトヲ言フテ居ル、  
算盤ガ引合ハナイト云フコトヲ言フテ居ル、  
其算盤ノ引合ハナイト理由ハ何處ニアルカト  
申シマスルト云フト、是ハ少シ細カクナツテ  
参リマスカラ、委員會ニ於テ詳シイコトハ  
論ジマスルガ、問題ハ要スルニ生産費ノ問題  
デアリマス、今日政府ノ昭和五年二月二日ニ  
於テ調べラレマシタ生産費ハドレ位ニナツ  
テ居ルカト申上ゲマスルト云フト、此生産  
費ト云フモノガ、範擇ニ私共ハ考ヘ  
マスルガ、政府ノ調ニ依リマスルト云フ  
ト、昭和五年二月一日ノ調ニハ、四十六圓  
三十六錢トナツテ居ルノデス、四十六圓三十  
六錢トナツテ居リマシテ、是ハ鐵鑄石ト「コー  
クス」ト「マンガン」、石灰石、勞力費、雜費、利  
益及償却、此合計ガ四十六圓三十六錢トナ  
ツテ居リマス、此四十六圓三十六錢ト云フモノガ、  
昭和五年ノ生產費デアリマスルカラ、ソレ  
カラ物價ガ一割三分下ブテ居リマスルカラ、  
大體物價ノ下リ工合ヲ見テ、政府ノ調ヲ想  
マス、此四十圓三十三錢ト云フ生產費ガ、  
シテ見マスルト云フト、六圓三錢ヲ引ケ  
シテ關稅ヲ課ケルト云フコトガ、今度ノ問  
題ノ根本デアルト私ハ解釋致シマス、サウ  
シテ政府ノ調ニ依リマスルト云フト、需要  
ノ需要ヲ、生産ヲ以テ自給自足ガ出來ルト  
言ウテ居ル、是レ非常ナ見解ノ誤リデアリ  
マシテ、二百十万噸ノ鐵ハ、ソレハ今日ノ熔

ス、昭和四年ノ五製鐵會社ノ銑鐵生産量ガ五十七万三千噸デアリマスカラ、之ヲ割テ見マスナラバ、丁度製鐵會社ガ一噸ニ付キマシテ、四圓何ガシト云フ借錢ヲシテ居ルコトニナラテ來ル、今申上ゲマシタヤウナ工合ニ、四圓何ガシト云フ借錢ヲ此關稅改正是等ノ製鐵會社ガ、大體下ウ云フヤウナ状況デ居ルカト申シマスニ、鑛石、「コークス」、石炭トカ、運賃其他ニ付キマシテ細力ク申上ゲマシタナラバ果テガアリマセヌカラ、此處デハ節約致シマスルガ(笑聲)釜石、鶴見、輪西、兼二浦及本溪湖、鞍山等ノ、此六製鐵會社ニ付キマシテ、淺野ノヤンテ居ル鶴見ヲ除イタ外全部ハ、頓カ四百圓モスルヤウナ時ノ設備デアリタノデアリマス、即チ放漫ナル經營ヲヤッタガ爲ニ、今申シマンタ今日頓四圓ノ借金ノ利息ヲ負擔シテ居ル、此放漫ナル經營振り、頓四圓モノ借金ノ利息ヲ負擔シテ居ル此會社ヲ、關稅ヲ高クシテ保護スルト云フコトハ、是ハ私共ハ餘程考ヘナケレバ又重大問題デナイカト考ヘル(拍手)政友會ノ中デモ手ヲ叩キテ吳レル人モアリマス、此五會社ハ頓四百圓ニ餘ル所ノ銑鐵ノ相場ノ時ニ建設ヲ致シタモノデアリマスカラ、今日ニナッテハ其負債ノ毒ヲ孕シテ居リマス、而シテ輪西ハ鑛物ハ自分ノ所ト、外國カラ來テ居ルトカ、石炭ハ自分ニヤッテ居ルトカ、中央へ遠イトカ、或ハ熔鑛爐ガ一番大キイモノガ百五十噸デアルトカ、兼二浦ニ付テモ鑛石、石炭ノ中央市場ニ遠イトカ、近イトカ、或ハ熔鑛爐ノ設備ガ不完全デアルトカ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、釜石モ亦然リデアリマスガ、日本ノ國ノ五製鐵會社乃至六製鐵會社ニ付キマシテハ、頗ル產業ガ合理化サレテ居リマス又、頓四圓時代ノ借錢ヲ見込ンデ居ルバカリデハ

ナイ、鑛石モ外國カラ來テ居レバ、石炭モ亦餘所カラ取テ居ルト云フヤウナ所ガ澤山アリマシテ、銑鐵製造ノ獨立ガ、日本ニコトニナラバ、丁度製鐵會社ガ一噸ニ付キマシテ、四圓何ガシト云フ借錢ヲシテ居ルコトニナラテ來ル、今申上ゲマシタヤウナ工合ニ、四圓何ガシト云フ借錢ヲ此關稅改正ニ於テ丁度保護スルヤウナ結果ニナッテ來マス、是ハ淘ニ重大ナ問題デアリマシテ、出來我國ノ製鐵會社ノ釜石、兼二浦、輪西、是等ノ製鐵會社ガ、大體下ウ云フヤウナ状況デ居ルカト申シマスニ、鑛石、「コークス」、石炭トカ、運賃其他ニ付キマシテ細力ク申上ゲマシタナラバ果テガアリマセヌカラ、此處デハ節約致シマスルガ(笑聲)釜石、鶴見、輪西、兼二浦及本溪湖、鞍山等ノ、此六製鐵會社ニ付キマシテ、淺野ノヤンテ居ル鶴見ヲ除イタ外全部ハ、頓カ四百圓モスルヤウナ時ノ設備デアリタノデアリマス、即チ放漫ナル經營ヲヤッタガ爲ニ、今申シマンタ今日頓四圓ノ借金ノ利息ヲ負擔シテ居ル、此放漫ナル經營振り、頓四圓モノ借金ノ利息ヲ負擔シテ居ル此會社ヲ、關稅ヲ高クシテ保護スルト云フコトハ、是ハ私共ハ餘程考ヘナケレバ又重大問題デナイカト考ヘル(拍手)政友會ノ中デモ手ヲ叩キテ吳レル人モアリマス、此五會社ハ頓四百圓ニ餘ル所ノ銑鐵ノ相場ノ時ニ建設ヲ致シタモノデアリマスカラ、今日ニナッテハ其負債ノ毒ヲ孕シテ居リマス、而シテ輪西ハ鑛物ハ自分ノ所ト、外國カラ來テ居ルトカ、石炭ハ自分ニヤッテ居ルトカ、中央へ遠イトカ、或ハ熔鑛爐ノ設備ガ不完全デアルトカ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、釜石モ亦然リデアリマスガ、日本ノ國ノ五製鐵會社乃至六製鐵會社ニ付キマシテハ、頗ル產業ガ合理化サレテ居リマス又、頓四圓時代ノ借錢ヲ見込ンデ居ルバカリデハ

内閣ノ時ニ於テモ迷ウテ居ラレテ、ドウスルカ、斯ウスルカ、大藏省ニ内容ヲ聞イテ見マスルニ、モウ一遍當業者カラ「ヒヤーリング」シタ後ニ於テヤラウヂヤナイカト云フ意見モアッタ、ソレガ突如トシテ茲ニ現レテ來マシテ、百斤ニ付テ三十六錢モノ稅六錢ノ稅ヲ課ケル、十錢ノ物ニ三倍六分、即チ三十一年六錢ノ稅ヲ課ケルト云フヤウナコトニナックテ來マシテ、外國ノ輸入沖著價格ト比較シテ關稅改正ヲ決メルト云フノガ、是ガ古ハ餘儀ナク此案ヲ出サネバナラヌヤウニタル次第デアリマス(拍手)斯ウ云フヤウニ觀察シテ見マスルト云フト、鐵關稅改正、其引上ト云フモノニ付キマシテハ、私共ハ承服スルニ沟ニ苦ム點ガ澤山アルノデアリマス、加之生產費ト致シマシテ、今申シマンタ如クニ、政府ガ今調ベタ點カラ觀察致シマシテモ四十圓三十三錢トナリマス、此生産費ニ對シマシテ、假令之ヲ正シイモノトシテ考ヘテ御話申上げマスルト云フト、大正七年即チ本年ノ一月カラ四月迄ノ外國銑鐵ノ輸入平均價格ハ、是亦大藏省ノ發表ニ依レバ二十六圓四錢ニナッテ居リマス、之ニ獎勵金ヲ四圓餘ヲ加ヘテ、關稅ノ頓一圓六十七錢ヲ加ヘマシタナラバ、合計三十一圓七十モ、重だナル影響ヲ及ボス、鍋ヤ釜ニ付キマシテ居リマスガ、鐵製品ノ如キモノガ非常ニ國民生活ノ必需品デアリ、殊ニ「スチール」其モ影響ヲ及ボス、鍋ヤ釜ニ付キマシテモ、重だナル影響ヲ及ボスコトニナッテ居ルノデアリマス、此問題ヲ輕卒不謹慎ニモ、國民ニ對シテ、ドウシテモ此不思議ヲ質シ、勿々ノ間ニ事ヲ決シテ、此議會ニ出サナケレバナラヌヤウニナッタ云フコトニ付キマシテハ、私共ハ非常ニ此點ニ付キマシテ、居リマスガ、此問題ヲ輕卒不謹慎ニモ、國民ニ對シテ、ドウシテモ此不思議ヲ質シテ置カナケレバ、イカヌト云フノデアル、若レバナラヌヤウニナッタ云フコトニ付キマシテハ、私共ハ非常ニ此點ニ付キマシテ、居リマスガ、是ハ外國ノ銑鐵ノ生產費ノ冲著價格ニ對シマシテ安クハナッテ居ナイ、殊ニ釜石ノ方ハ、最モ非合理化的ノ所デアル、

ト致シマシテ、私共國民ノ代表ト致シマシテ、此點ニ付キマシテ十分政府ニ質疑ヲ致シテハ、各製鐵業、製鐵會社ソレ自身ヲ調查シテハ、各製鐵業、製鐵會社ソレ自身ヲ調查シテハ、各製鐵業、製鐵會社ソレ自身ヲ調查シテハ、各製鐵業、製鐵會社ソレ自身ヲ調査シタ上デナケレバ決定ガ出來ルモノデハナイ、政府ノ方ニ於キマシテモ亦然リ、此問題ニ付キマシテハ、關稅改正委員會ノ議ニ上ス前ニ、政府モ迷ウテ居ラレタ、政友會内閣ノ時ニ於テモ迷ウテ居ラレテ、ドウスルカ、斯ウスルカ、大藏省ニ内容ヲ聞イテ見マスルニ、モウ一遍當業者カラ「ヒヤーリング」シタ後ニ於テヤラウヂヤナイカト云フ意見モアッタ、ソレガ突如トシテ茲ニ現レテ來マシテ、百斤ニ付テ三十六錢モノ稅六錢ノ稅ヲ課ケル、十錢ノ物ニ三倍六分、即チ三十一年六錢ノ稅ヲ課ケルト云フヤウナコトニナックテ來マシテ、外國ノ輸入沖著價格ト比較シテ關稅改正ヲ決メルト云フノガ、是ガ古ハ餘儀ナク此案ヲ出サネバナラヌヤウニタル次第デアリマス(拍手)斯ウ云フヤウニ觀察シテ見マスルト云フト、鐵關稅改正、其引上ト云フモノニ付キマシテハ、私共ハ承服スルニ沟ニ苦ム點ガ澤山アルノデアリマス、加之生產費ト致シマシテ、今申シマンタ如クニ、政府ガ今調ベタ點カラ觀察致シマシテモ四十圓三十三錢トナリマス、此生産費ニ對シマシテ、假令之ヲ正シイモノトシテ考ヘテ御話申上げマスルト云フト、大正七年即チ本年ノ一月カラ四月迄ノ外國銑鐵ノ輸入平均價格ハ、是亦大藏省ノ發表ニ依レバ二十六圓四錢ニナッテ居リマス、之ニ獎勵金ヲ四圓餘ヲ加ヘテ、關稅ノ頓一圓六十七錢ヲ加ヘマシタナラバ、合計三十一圓七十モ、重だナル影響ヲ及ボス、鍋ヤ釜ニ付キマシテモ、重だナル影響ヲ及ボスコトニナッテ居ルノデアリマス、此問題ヲ輕卒不謹慎ニモ、國民ニ對シテ、ドウシテモ此不思議ヲ質シ、勿々ノ間ニ事ヲ決シテ、此議會ニ出サナケレバナラヌヤウニナッタ云フコトニ付キマシテハ、私共ハ非常ニ此點ニ付キマシテ、居リマスガ、是ハ外國ノ銑鐵ノ生產費ノ冲著價格ニ對シマシテ安クハナッテ居ナイ、殊ニ釜石ノ方ハ、最モ非合理化的ノ所デアル、

又一步之ヲ誤クナラバ、所謂社會問題ヲ起スカ起サヌカノ重大問題デアル、齋藤内閣成立ノ趣旨ニモ影響シテ來ル問題デアルト云フコトヲ考ヘル次第アリマス(拍手)ソレカラモウ一點錢ノ問題ニ付テ聞キタモノハ印度ノ「バーン」ノ鐵ニ百斤三十六錢モノ關稅ヲ課ケマスト云フト、將來日印貿易ヲ阻害スル所ノ處ナキヤ否ヤ、此前モノレヲ心配致シマシテ、綿絲綿布ニ對シテ關稅ヲ課ケラレタナラバ困ルト云フ問題デ、片岡大藏大臣ノ時ニ頓四圓ノ獎勵金ヲ與ヘテ此問題ヲ解決シタノデアル、所ガ其後ニ於テ印度ハ綿絲綿布ニ付テ關稅ヲ引上ゲカラ、報復關稅ノ虞ハ無イノデアリマスガ、今日ノ印度ノ社會狀態ヲ見マスノニ、外國品ニ對シテ排斥ヲシテ居ル狀態デアリマシテ、印度人ノ日本人ニ對スル考ト云フモノハ、前トハ非常ニ違テ來テ居ル、若シ茲ニ一步誤シテ、印度ノ「バーン」ノ銑鐵ニ對シテ關稅ヲ課ケテ高クスルヤウナコトニナ、來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

斯ウ考ヘテ見マスルト、荒木陸軍大臣ニ私ハ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、滿洲問題ハ御承知ノ通り是ハ我國々民ノ殆下生シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

重ナル影響ガアル問題デアリマスカラ、ソレカラ汽船會社ト致シマシテモ、此「バーン」ノ銑鐵ガ安い原因ト云フモノハ、郵船ヤ大阪商船ガ、歸リ荷トシテ積ンデ來ルカラ安イノデアリマス、此歸リ荷ト云フモノガナクナシテ、汽船會社モ郵船會社モ困リマス、隨テ日印貿易ノ將來ニ暗影ヲ投ズル、此問題ニ付テ十分御考察ト御研究ヲ戴イタカ否ヤ、サウシテ關稅ハ更ニスウ云フ結果ニナッテ來マス、滿洲ノ鐵ニ付キモシテ本溪湖及鞍山站ニ付ルコトニナッテ居リマス、從來ハ昭和五年ニ於キマシテ本溪湖及鞍山站ニ付テハ百三十九万四千圓ト云フモノヲ、關稅定率法中改正法律案外一件 第一讀會

又一步之ヲ誤クナラバ、所謂社會問題ヲ起スカ起サヌカノ重大問題デアル、齋藤内閣成立ノ趣旨ニモ影響シテ來ル問題デアルト云フコトヲ考ヘル次第アリマス(拍手)ソレカラモウ一點錢ノ問題ニ付テ聞キタモノハ印度ノ「バーン」ノ鐵ニ百斤三十六錢モノ關稅ヲ課ケマスト云フト、將來日印貿易ヲ阻害スル所ノ處ナキヤ否ヤ、此前モノレヲ心配致シマシテ、綿絲綿布ニ付シテ關稅ヲ課ケラレタナラバ困ルト云フ問題デ、片岡大藏大臣ノ時ニ頓四圓ノ獎勵金ヲ與ヘテ此問題ヲ解決シタノデアル、所ガ其後ニ於テ印度ハ綿絲綿布ニ付テ關稅ヲ引上ゲカラ、報復關稅ノ虞ハ無イノデアリマスガ、今日ノ印度ノ社會狀態ヲ見マスノニ、外國品ニ對シテ排斥ヲシテ居ル狀態デアリマシテ、印度人ノ日本人ニ對スル考ト云フモノハ、前トハ非常ニ違テ來テ居ル、若シ茲ニ一步誤シテ、印度ノ「バーン」ノ銑鐵ニ對シテ關稅ヲ課ケテ高クスルヤウナコトニナ、來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

斯ウ考ヘテ見マスルト、荒木陸軍大臣ニ私ハ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、滿洲問題ハ御承知ノ通り是ハ我國々民ノ殆下生シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

重ナル影響ガアル問題デアリマスカラ、ソレカラ汽船會社ト致シマシテモ、此「バーン」ノ銑鐵ガ安い原因ト云フモノハ、郵船ヤ大阪商船ガ、歸リ荷トシテ積ンデ來ルカラ安イノデアリマス、此歸リ荷ト云フモノガナクナシテ、汽船會社モ郵船會社モ困リマス、隨テ日印貿易ノ將來ニ暗影ヲ投ズル、此問題ニ付テ十分御考察ト御研究ヲ戴イタカ否ヤ、サウシテ關稅ハ更ニスウ云フ結果ニナッテ來マス、滿洲ノ鐵ニ付キモシテ本溪湖及鞍山站ニ付ルコトニナッテ居リマス、從來ハ昭和五年ニ於キマシテ本溪湖及鞍山站ニ付テハ百三十九万四千圓ト云フモノヲ、關稅定率法中改正法律案外一件 第一讀會

ヲヤツテ居シテ、内地ト同ジヤウナ取扱ヲヤッテ居リマスガ、今度ハ關稅ヲ百斤ニ付テ十易ヲ阻害スル所ノ處ナキヤ否ヤ、此前モノレヲ心配致シマシテ、綿絲綿布ニ付シテ關稅ヲ課ケラレタナラバ困ルト云フ問題デ、片岡大藏大臣ノ時ニ頓四圓ノ獎勵金ヲ與ヘテ此問題ヲ解決シタノデアル、所ガ其後ニ於テ印度ハ綿絲綿布ニ付テ關稅ヲ引上ゲカラ、報復關稅ノ虞ハ無イノデアリマスガ、今日ノ印度ノ社會狀態ヲ見マスノニ、外國品ニ對シテ排斥ヲシテ居ル狀態デアリマシテ、印度人ノ日本人ニ對スル考ト云フモノハ、前トハ非常ニ違テ來テ居ル、若シ茲ニ一步誤シテ、印度ノ「バーン」ノ銑鐵ニ對シテ關稅ヲ課ケテ高クスルヤウナコトニナ、來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

斯ウ考ヘテ見マスルト、荒木陸軍大臣ニ私ハ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、滿洲問題ハ御承知ノ通り是ハ我國々民ノ殆下生シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

重ナル影響ガアル問題デアリマスカラ、ソレカラ汽船會社ト致シマシテモ、此「バーン」ノ銑鐵ガ安い原因ト云フモノハ、郵船ヤ大阪商船ガ、歸リ荷トシテ積ンデ來ルカラ安イノデアリマス、此歸リ荷ト云フモノガナクナシテ、汽船會社モ郵船會社モ困リマス、隨テ日印貿易ノ將來ニ暗影ヲ投ズル、此問題ニ付テ十分御考察ト御研究ヲ戴イタカ否ヤ、サウシテ關稅ハ更ニスウ云フ結果ニナッテ來マス、滿洲ノ鐵ニ付キモシテ本溪湖及鞍山站ニ付ルコトニナッテ居リマス、從來ハ昭和五年ニ於キマシテ本溪湖及鞍山站ニ付テハ百三十九万四千圓ト云フモノヲ、關稅定率法中改正法律案外一件 第一讀會

ヲヤツテ居シテ、内地ト同ジヤウナ取扱ヲヤッテ居リマスガ、今度ハ關稅ヲ百斤ニ付テ十易ヲ阻害スル所ノ處ナキヤ否ヤ、此前モノレヲ心配致シマシテ、綿絲綿布ニ付シテ關稅ヲ課ケラレタナラバ困ルト云フ問題デ、片岡大藏大臣ノ時ニ頓四圓ノ獎勵金ヲ與ヘテ此問題ヲ解決シタノデアル、所ガ其後ニ於テ印度ハ綿絲綿布ニ付テ關稅ヲ引上ゲカラ、報復關稅ノ虞ハ無イノデアリマスガ、今日ノ印度ノ社會狀態ヲ見マスノニ、外國品ニ對シテ排斥ヲシテ居ル狀態デアリマシテ、印度人ノ日本人ニ對スル考ト云フモノハ、前トハ非常ニ違テ來テ居ル、若シ茲ニ一步誤シテ、印度ノ「バーン」ノ銑鐵ニ對シテ關稅ヲ課ケテ高クスルヤウナコトニナ、來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

斯ウ考ヘテ見マスルト、荒木陸軍大臣ニ私ハ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、滿洲問題ハ御承知ノ通り是ハ我國々民ノ殆下生シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處ハナイカ、殊ニ人絹ニ對シテ、更ニ又報復關稅ヲ喰フ處ハナイカ、殊ニ日印貿易ニ對シテ來マスルナラバ、印度人ノ心理ヲ刺戟致シマシテ、更ニ又此綿絲綿布ヲ引上ゲル處此點モ亦政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ

重ナル影響ガアル問題デアリマスカラ、ソレカラ汽船會社ト致シマシテモ、此「バーン」ノ銑鐵ガ安い原因ト云フモノハ、郵船ヤ大阪商船ガ、歸リ荷トシテ積ンデ來ルカラ安イノデアリマス、此歸リ荷ト云フモノガナクナシテ、汽船會社モ郵船會社モ困リマス、隨テ日印貿易ノ將來ニ暗影ヲ投ズル、此問題ニ付テ十分御考察ト御研究ヲ戴イタカ否ヤ、サウシテ關稅ハ更ニスウ云フ結果ニナッテ來マス、滿洲ノ鐵ニ付キモシテ本溪湖及鞍山站ニ付ルコトニナッテ居リマス、從來ハ昭和五年ニ於キマシテ本溪湖及鞍山站ニ付テハ百三十九万四千圓ト云フモノヲ、關稅定率法中改正法律案外一件 第一讀會

木材問題ニ付キマシテハ細カイコトハ時  
間モ經ツテ參リマシタカラ、私ハ茲ニ簡單ニ  
是カラ御話申上ダマス後ハ小麥ト木材ダケ  
簡單ニ御質問ヲ申上ダマシテ止メタイト考  
ヘマスカラ、モウ暫ク御靜聽ヲ煩シタイ、  
木材ノ需要ハ六千六百万石アリマス、昭  
和五年ノ農林統計デ御分リニナツテ居リマ  
スガ、内地ノ生産高ガ五千三百万石アレバ  
テ、其不足ガ千二百万石、日本デハ木材ガ  
千二百万石ガ足ラナイ、是ハ明カナ事實デ  
アツテ、此足ラナイ木材ガ何處カラ來テ居ル  
カト言タナラバ、米國カラ五百八十万石、  
加奈陀カラ百五十萬石、沿海州カラ百八十  
万石、滿洲カラ五十萬石、南洋カラ四十萬  
石、其他カラ澤山アリマスルガ、之ヲ除ケ  
マシテ、大體合計シテ千五十萬石位ノ輸入  
ハ今日アルノデアリマス、サウシテ内地需  
要ノ不足ガ千二三百万石アツテ、外材ヲ入レ  
ナケレバ日本ノ今日ノ建築ノ需要ヲ充スコ  
トガ出來ナイコトハ明カデアル、所ガ今日  
ニ於キマシテ政府ガ木材ニ付テ非常ナ高率  
ノ引上ヲナシテ居リマス、殊ニドグラスフ  
アーニ付キマシテ、米松ニ付テ引上ヲ爲シ  
テ居リマスガ、改正法ヲ觀テ見マスルト  
云フト、米檜、米杉、米樹ニ比シテ米松ガ  
低率ナルガ爲ニ、澤山入ツテ來ルカラ、之ヲ  
止メナケレバナラスト云フノガ第一ノ理  
由、第二ノ理由ハ此儘ニシテ置ケバ、一般  
木材關稅率ノ制定ノ效果ヲ收ムル能ハザル  
ノミナラズ、各種林政上ノ施設ハ所期ノ目  
的ヲ達スルコトヲ得ナイ、即チ本邦林業ノ方  
面及農山村住民ノ救濟ノ爲ニ、米國カラ入  
テ來ル米松ヲ引上ゲルト、斯ウ言ハレテ居  
リマス、「其通りト呼フ者アリ」所ガ其通  
リデナイ理由ヲ澤山私ハ御話申上ダテ見セ  
ル、細カイコトハ申シマセヌガ、今日ニ於  
ケル所ノ日本ノ木材界ノ價格ヲ素シ、之ヲ  
低落セシメテ居ル原因ガ二ツアリマス、其  
一つハ不景氣ト云フコトデ、是ハ明カナコ

トデアリマス、其次ハ北洋材即チ樺太材デ  
アリマス、樺太材ガ今日ノ木材界ノ大勢ヲ  
動カシ、農山村民ガ困ラセラレテ居ルノハ  
簡單ニ御質問ヲ申上ダマシテ止メタイト考  
ヘマスカラ、モウ暫ク御靜聽ヲ煩シタイ、  
木材ノ需要ハ六千六百万石アリマス、昭  
和五年ノ農林統計デ御分リニナツテ居リマ  
スガ、内地ノ生産高ガ五千三百万石アレバ  
テ、其不足ガ千二百万石、日本デハ木材ガ  
千二百万石ガ足ラナイ、是ハ明カナ事實デ  
アツテ、此足ラナイ木材ガ何處カラ來テ居ル  
カト言タナラバ、米國カラ五百八十万石、  
加奈陀カラ百五十萬石、沿海州カラ百八十  
万石、滿洲カラ五十萬石、南洋カラ四十萬  
石、其他カラ澤山アリマスルガ、之ヲ除ケ  
マシテ、大體合計シテ千五十萬石位ノ輸入  
ハ今日アルノデアリマス、サウシテ内地需  
要ノ不足ガ千二三百万石アツテ、外材ヲ入レ  
ナケレバ日本ノ今日ノ建築ノ需要ヲ充スコ  
トガ出來ナイコトハ明カデアル、所ガ今日  
ニ於キマシテ政府ガ木材ニ付テ非常ナ高率  
ノ引上ヲナシテ居リマス、殊ニドグラスフ  
アーニ付キマシテ、米松ニ付テ引上ヲ爲シ  
テ居リマスガ、改正法ヲ觀テ見マスルト  
云フト、米檜、米杉、米樹ニ比シテ米松ガ  
低率ナルガ爲ニ、澤山入ツテ來ルカラ、之ヲ  
止メナケレバナラスト云フノガ第一ノ理  
由、第二ノ理由ハ此儘ニシテ置ケバ、一般  
木材關稅率ノ制定ノ效果ヲ收ムル能ハザル  
ノミナラズ、各種林政上ノ施設ハ所期ノ目  
的ヲ達スルコトヲ得ナイ、即チ本邦林業ノ方  
面及農山村住民ノ救濟ノ爲ニ、米國カラ入  
テ來ル米松ヲ引上ゲルト、斯ウ言ハレテ居  
リマス、「其通りト呼フ者アリ」所ガ其通  
リデナイ理由ヲ澤山私ハ御話申上ダテ見セ  
ル、細カイコトハ申シマセヌガ、今日ニ於  
ケル所ノ日本ノ木材界ノ價格ヲ素シ、之ヲ  
低落セシメテ居ル原因ガ二ツアリマス、其  
一つハ不景氣ト云フコトデ、是ハ明カナコ

トデアリマス、其次ハ北洋材即チ樺太材デ  
アリマス、樺太材ガ今日ノ木材界ノ大勢ヲ  
動カシ、農山村民ガ困ラセラレテ居ルノハ  
簡單ニ御質問ヲ申上ダマシテ止メタイト考  
ヘマスカラ、モウ暫ク御靜聽ヲ煩シタイ、  
木材ノ需要ハ六千六百万石アリマス、昭  
和五年ノ農林統計デ御分リニナツテ居リマ  
スガ、内地ノ生産高ガ五千三百万石アレバ  
テ、其不足ガ千二百万石、日本デハ木材ガ  
千二百万石ガ足ラナイ、是ハ明カナ事實デ  
アツテ、此足ラナイ木材ガ何處カラ來テ居ル  
カト言タナラバ、米國カラ五百八十万石、  
加奈陀カラ百五十萬石、沿海州カラ百八十  
万石、滿洲カラ五十萬石、南洋カラ四十萬  
石、其他カラ澤山アリマスルガ、之ヲ除ケ  
マシテ、大體合計シテ千五十萬石位ノ輸入  
ハ今日アルノデアリマス、サウシテ内地需  
要ノ不足ガ千二三百万石アツテ、外材ヲ入レ  
ナケレバ日本ノ今日ノ建築ノ需要ヲ充スコ  
トガ出來ナイコトハ明カデアル、所ガ今日  
ニ於キマシテ政府ガ木材ニ付テ非常ナ高率  
ノ引上ヲナシテ居リマス、殊ニドグラスフ  
アーニ付キマシテ、米松ニ付テ引上ヲ爲シ  
テ居リマスガ、改正法ヲ觀テ見マスルト  
云フト、米檜、米杉、米樹ニ比シテ米松ガ  
低率ナルガ爲ニ、澤山入ツテ來ルカラ、之ヲ  
止メナケレバナラスト云フノガ第一ノ理  
由、第二ノ理由ハ此儘ニシテ置ケバ、一般  
木材關稅率ノ制定ノ效果ヲ收ムル能ハザル  
ノミナラズ、各種林政上ノ施設ハ所期ノ目  
的ヲ達スルコトヲ得ナイ、即チ本邦林業ノ方  
面及農山村住民ノ救濟ノ爲ニ、米國カラ入  
テ來ル米松ヲ引上ゲルト、斯ウ言ハレテ居  
リマス、「其通りト呼フ者アリ」所ガ其通  
リデナイ理由ヲ澤山私ハ御話申上ダテ見セ  
ル、細カイコトハ申シマセヌガ、今日ニ於  
ケル所ノ日本ノ木材界ノ價格ヲ素シ、之ヲ  
低落セシメテ居ル原因ガ二ツアリマス、其  
一つハ不景氣ト云フコトデ、是ハ明カナコ

トデアリマス、其次ハ北洋材即チ樺太材デ  
アリマス、樺太材ガ今日ノ木材界ノ大勢ヲ  
動カシ、農山村民ガ困ラセラレテ居ルノハ  
簡單ニ御質問ヲ申上ダマシテ止メタイト考  
ヘマスカラ、モウ暫ク御靜聽ヲ煩シタイ、  
木材ノ需要ハ六千六百万石アリマス、昭  
和五年ノ農林統計デ御分リニナツテ居リマ  
スガ、内地ノ生産高ガ五千三百万石アレバ  
テ、其不足ガ千二百万石、日本デハ木材ガ  
千二百万石ガ足ラナイ、是ハ明カナ事實デ  
アツテ、此足ラナイ木材ガ何處カラ來テ居ル  
カト言タナラバ、米國カラ五百八十万石、  
加奈陀カラ百五十萬石、沿海州カラ百八十  
万石、滿洲カラ五十萬石、南洋カラ四十萬  
石、其他カラ澤山アリマスルガ、之ヲ除ケ  
マシテ、大體合計シテ千五十萬石位ノ輸入  
ハ今日アルノデアリマス、サウシテ内地需  
要ノ不足ガ千二三百万石アツテ、外材ヲ入レ  
ナケレバ日本ノ今日ノ建築ノ需要ヲ充スコ  
トガ出來ナイコトハ明カデアル、所ガ今日  
ニ於キマシテ政府ガ木材ニ付テ非常ナ高率  
ノ引上ヲナシテ居リマス、殊ニドグラスフ  
アーニ付キマシテ、米松ニ付テ引上ヲ爲シ  
テ居リマスガ、改正法ヲ觀テ見マスルト  
云フト、米檜、米杉、米樹ニ比シテ米松ガ  
低率ナルガ爲ニ、澤山入ツテ來ルカラ、之ヲ  
止メナケレバナラスト云フノガ第一ノ理  
由、第二ノ理由ハ此儘ニシテ置ケバ、一般  
木材關稅率ノ制定ノ效果ヲ收ムル能ハザル  
ノミナラズ、各種林政上ノ施設ハ所期ノ目  
的ヲ達スルコトヲ得ナイ、即チ本邦林業ノ方  
面及農山村住民ノ救濟ノ爲ニ、米國カラ入  
テ來ル米松ヲ引上ゲルト、斯ウ言ハレテ居  
リマス、「其通りト呼フ者アリ」所ガ其通  
リデナイ理由ヲ澤山私ハ御話申上ダテ見セ  
ル、細カイコトハ申シマセヌガ、今日ニ於  
ケル所ノ日本ノ木材界ノ價格ヲ素シ、之ヲ  
低落セシメテ居ル原因ガ二ツアリマス、其  
一つハ不景氣ト云フコトデ、是ハ明カナコ

トデアリマス、其次ハ北洋材即チ樺太材デ  
アリマス、樺太材ガ今日ノ木材界ノ大勢ヲ  
動カシ、農山村民ガ困ラセラレテ居ルノハ  
簡單ニ御質問ヲ申上ダマシテ止メタイト考  
ヘマスカラ、モウ暫ク御靜聽ヲ煩シタイ、  
木材ノ需要ハ六千六百万石アリマス、昭  
和五年ノ農林統計デ御分リニナツテ居リマ  
スガ、内地ノ生産高ガ五千三百万石アレバ  
テ、其不足ガ千二百万石、日本デハ木材ガ  
千二百万石ガ足ラナイ、是ハ明カナ事實デ  
アツテ、此足ラナイ木材ガ何處カラ來テ居ル  
カト言タナラバ、米國カラ五百八十万石、  
加奈陀カラ百五十萬石、沿海州カラ百八十  
万石、滿洲カラ五十萬石、南洋カラ四十萬  
石、其他カラ澤山アリマスルガ、之ヲ除ケ  
マシテ、大體合計シテ千五十萬石位ノ輸入  
ハ今日アルノデアリマス、サウシテ内地需  
要ノ不足ガ千二三百万石アツテ、外材ヲ入レ  
ナケレバ日本ノ今日ノ建築ノ需要ヲ充スコ  
トガ出來ナイコトハ明カデアル、所ガ今日  
ニ於キマシテ政府ガ木材ニ付テ非常ナ高率  
ノ引上ヲナシテ居リマス、殊ニドグラスフ  
アーニ付キマシテ、米松ニ付テ引上ヲ爲シ  
テ居リマスガ、改正法ヲ觀テ見マスルト  
云フト、米檜、米杉、米樹ニ比シテ米松ガ  
低率ナルガ爲ニ、澤山入ツテ來ルカラ、之ヲ  
止メナケレバナラスト云フノガ第一ノ理  
由、第二ノ理由ハ此儘ニシテ置ケバ、一般  
木材關稅率ノ制定ノ效果ヲ收ムル能ハザル  
ノミナラズ、各種林政上ノ施設ハ所期ノ目  
的ヲ達スルコトヲ得ナイ、即チ本邦林業ノ方  
面及農山村住民ノ救濟ノ爲ニ、米國カラ入  
テ來ル米松ヲ引上ゲルト、斯ウ言ハレテ居  
リマス、「其通りト呼フ者アリ」所ガ其通  
リデナイ理由ヲ澤山私ハ御話申上ダテ見セ  
ル、細カイコトハ申シマセヌガ、今日ニ於  
ケル所ノ日本ノ木材界ノ價格ヲ素シ、之ヲ  
低落セシメテ居ル原因ガ二ツアリマス、其  
一つハ不景氣ト云フコトデ、是ハ明カナコ

キマシテモ平均輸入價格ガ本年一月カラ三月迄ノ間ニ於キマシテ六圓四十錢ニナッテ居リマスルガ、ソレヲ四圓三十錢ノ關稅ヲ課ケレバ七割一分ニ當ルコトニナッテ居リマス、所ガ斯ノ如キ稅率ト云フモノハ全世界ノ稅率ヲ調べテ見マスルニ、獨逸ニ於キマシテ禁止稅ヲ課ケテ居ル、獨逸ハ一石ニ付テ十四圓十四錢ニ對シマシテ十六圓三十錢課ケテ居ル、是ハ農林省ノ調デアルカラ間違ナカラウト考ヘル、是ハ外國ノ立法例ニアリマスガ、千九百三十一年ノ七月現在ニ依レバ、斯ノ如クナツ居リマスルガ、獨逸ダケ除ケテ見レバ佛蘭西ニ於テハ從價五割課ケテ居ル、伊太利ニ於テハ六割八分課ケテ居ル、他ノ國ニ於テハ三割トカ二割トカデアリマシテ、八割近イ所ノ稅率ヲ課ケテ居ル國ト云フモノハ獨逸國ヲ除ケテハ殆ド無イヤウナ狀況ニナツテ居リマスルガ、是デ農家ヲ保護スルコトガ出來テ、農村ガ助カレバ宜シイ、所ガ吾々ハ色々研究シテ見マスケレドモ、農村ハ之ニ依テ助カリサウモナイ、助カルドコロカ、農村ハ却テ不利益デアル、不利益ニナルノハドウ云フ點カラ申スカト云ヒマスルト、農村ノ人口ハ約六割占メテ居リマス、農林省ハ四割八分ト云々テ居ルケレドモ、不景氣ノ結果歸農シテ居ル人ヲ加ヘテ見レバ六割ニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云村ガ作ッテ六百石賣ルコトニナツテ居レバ、農村ハ作ッタモノダケ全部賣ルコトニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云フモノガ多イ、小麥ヲ持テ居シ澤山賣貢スル者ハ大地主階級ダケデアッテ、中小農居リマスガ、倉庫ノ統計ニ依テ見マスト、小麥ハ殆ド商賣人ガ預ケテ居ル、是ガ面白イ眼ノ著ケ所デアリマス、小麥ハ商賣

人ガ預ケテ居テ農業者ガ預ケテ居ナイ、米ハ預ケテ居テ子供ノ學費ガ掛ケテ色々費用ガ要ルト言タラ、取り出シテ賣テ居リマシテ禁止稅ヲ課ケテ居ル、獨逸ハ一石ニ付テ十四圓十四錢ニ對シマシテ十六圓三十錢課ケテ居ル、是ハ農林省ノ調デアルカラ間違ナカラウト考ヘル、是ハ外國ノ立法例ニアリマスガ、千九百三十一年ノ七月現在ニ依レバ、斯ノ如クナツ居リマスルガ、獨逸ダケ除ケテ見レバ佛蘭西ニ於テハ從價五割課ケテ居ル、伊太利ニ於テハ六割八分課ケテ居ル、他ノ國ニ於テハ三割トカ二割トカデアリマシテ、八割近イ所ノ稅率ヲ課ケテ居ル國ト云ヒマスルコトニナツテ居ル、獨逸國ヲ除ケテハ殆ド無イヤウナ狀況ニナツテ居リマスルガ、是デ農家ヲ保護スルコトガ出來テ、農村ガ助カレバ宜シイ、所ガ吾々ハ色々研究シテ見マスケレドモ、農村ハ之ニ依テ助カリサウモナイ、助カルドコロカ、農村ハ却テ不利益デアル、不利益ニナルノハドウ云フ點カラ申スカト云ヒマスルト、農村ノ人口ハ約六割占メテ居リマス、農林省ハ四割八分ト云々テ居ルケレドモ、不景氣ノ結果歸農シテ居ル人ヲ加ヘテ見レバ六割ニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云村ガ作ッテ六百石賣ルコトニナツテ居レバ、農村ハ作ッタモノダケ全部賣ルコトニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云フモノガ多イ、小麥ヲ持テ居シ澤山賣貢スル者ハ大地主階級ダケデアッテ、中小農居リマスガ、倉庫ノ統計ニ依テ見マスト、小麥ハ殆ド商賣人ガ預ケテ居ル、是ガ面白イ眼ノ著ケ所デアリマス、小麥ハ商賣

人ガ預ケテ居テ農業者ガ預ケテ居ナイ、米ハ預ケテ居テ子供ノ學費ガ掛ケテ色々費用ガ要ルト言タラ、取り出シテ賣テ居リマシテ禁止稅ヲ課ケテ居ル、獨逸ハ一石ニ付テ十四圓十四錢ニ對シマシテ十六圓三十錢課ケテ居ル、是ハ農林省ノ調デアルカラ間違ナカラウト考ヘル、是ハ外國ノ立法例ニアリマスガ、千九百三十一年ノ七月現在ニ依レバ、斯ノ如クナツ居リマスルガ、獨逸ダケ除ケテ見レバ佛蘭西ニ於テハ從價五割課ケテ居ル、伊太利ニ於テハ六割八分課ケテ居ル、他ノ國ニ於テハ三割トカ二割トカデアリマシテ、八割近イ所ノ稅率ヲ課ケテ居ル國ト云ヒマスルコトニナツテ居ル、獨逸國ヲ除ケテハ殆ド無イヤウナ狀況ニナツテ居リマスルガ、是デ農家ヲ保護スルコトガ出來テ、農村ガ助カレバ宜シイ、所ガ吾々ハ色々研究シテ見マスケレドモ、農村ハ之ニ依テ助カリサウモナイ、助カルドコロカ、農村ハ却テ不利益デアル、不利益ニナルノハドウ云フ點カラ申スカト云ヒマスルト、農村ノ人口ハ約六割占メテ居リマス、農林省ハ四割八分ト云々テ居ルケレドモ、不景氣ノ結果歸農シテ居ル人ヲ加ヘテ見レバ六割ニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云村ガ作ッテ六百石賣ルコトニナツテ居レバ、農村ハ作ッタモノダケ全部賣ルコトニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云フモノガ多イ、小麥ヲ持テ居シ澤山賣貢スル者ハ大地主階級ダケデアッテ、中小農居リマスガ、倉庫ノ統計ニ依テ見マスト、小麥ハ殆ド商賣人ガ預ケテ居ル、是ガ面白イ眼ノ著ケ所デアリマス、小麥ハ商賣

人ガ預ケテ居テ農業者ガ預ケテ居ナイ、米ハ預ケテ居テ子供ノ學費ガ掛ケテ色々費用ガ要ルト言タラ、取り出シテ賣テ居リマシテ禁止稅ヲ課ケテ居ル、獨逸ハ一石ニ付テ十四圓十四錢ニ對シマシテ十六圓三十錢課ケテ居ル、是ハ農林省ノ調デアルカラ間違ナカラウト考ヘル、是ハ外國ノ立法例ニアリマスガ、千九百三十一年ノ七月現在ニ依レバ、斯ノ如クナツ居リマスルガ、獨逸ダケ除ケテ見レバ佛蘭西ニ於テハ從價五割課ケテ居ル、伊太利ニ於テハ六割八分課ケテ居ル、他ノ國ニ於テハ三割トカ二割トカデアリマシテ、八割近イ所ノ稅率ヲ課ケテ居ル國ト云ヒマスルコトニナツテ居ル、獨逸國ヲ除ケテハ殆ド無イヤウナ狀況ニナツテ居リマスルガ、是デ農家ヲ保護スルコトガ出來テ、農村ガ助カレバ宜シイ、所ガ吾々ハ色々研究シテ見マスケレドモ、農村ハ之ニ依テ助カリサウモナイ、助カルドコロカ、農村ハ却テ不利益デアル、不利益ニナルノハドウ云フ點カラ申スカト云ヒマスルト、農村ノ人口ハ約六割占メテ居リマス、農林省ハ四割八分ト云々テ居ルケレドモ、不景氣ノ結果歸農シテ居ル人ヲ加ヘテ見レバ六割ニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云村ガ作ッテ六百石賣ルコトニナツテ居レバ、農村ハ作ッタモノダケ全部賣ルコトニナツテ居ル、ソレカラ一方ハ農村以外ノ人々カラ考ヘマシテモ、農村ノ中デモ消費階級ト云フモノガ多イ、小麥ヲ持テ居シ澤山賣貢スル者ハ大地主階級ダケデアッテ、中小農居リマスガ、倉庫ノ統計ニ依テ見マスト、小麥ハ殆ド商賣人ガ預ケテ居ル、是ガ面白イ眼ノ著ケ所デアリマス、小麥ハ商賣

故ニ今日カラ云ヘバ、從量稅ハ其時ノ基準ガ四十八九弗ノ時ニ定メラレタノデアルカラ、爲替相場ガ今日ソレヨリ三割五分下ルト云フト、三割五分ノ恩恵ヲ受ケテ居ルト云フコトニナル、ソレ故ニ是マデ課ケテ居タ稅ノ三割五分ヲ増ス、斯ウ云フコトニナリマス、而シテ一方ニ於テハ爲替相場ト云フモノヲ安定セズニ爲替相場ヲ採ルト云フコトハドウ云フ譯カト云フテ、私ノ言フコトニ矛盾ガアルト云フヤウナ御咎モアリマシタケレドモ、先づ今日ノ所デハ別段政府ガ政策、或ハ何カ人爲的ニ手ヲ入レナクテモ、今日デハ先づ三十二三弗ノ所ニ落著イテ居ルノダカラ、ソレニ依テ三割五分ト云カラヨク爲替相場ガ三割五分下タノニ、物價ガ、ソレニ響イテ居ラヌト云フコトヲ屢、ノモノガ基準デアッタモノヲ、今日ノ爲替相場ニソレヲ直シタト云フニ過ギナイ、ソレカニタルモノデヤナハト云フモノハ製品ノ上ニ於テハ今日駿々トシテ進ム所ノ發御述ベノヤウデアリマシタガ、爲替相場ニソレヲ直シタト云フニ過ギナイ、ソレカニタルモノデヤナハト云フモノハ製品ノ上ニ於テハ今日駿々トシテ進ム所ノ發明ノ爲ニ、生產費ガ安クナルト云フコトハ澤山アルノデス、生產費ガ變ルカラ其物ガ安ク出來ルノデアル、爲替相場ニノミ因ル譯デハナイ、爲替相場ト輸入品ノ市價ヲ常ニ是ハ並行シテ上下スルモノダト斷定シデアル

ソレカラ關稅改正ニ對シテ豫算ニ稅額ガ積テ居ル、是ハ色々技術的ニ調ベタ結果、定率法改正ニ依ル分ガ四百七十六万八千二十二圓トスウ積テアルノデス、ソレカラ從量稅ノ三割五分增加ニ依ル分ハ一千百四十二万九千四百四十三圓、合セテ一千六百十九万七千四百六十五圓ト豫算ニハ上ボセテアルノデアリマス、其技術的ノ計算ノ仕方ニ付テハ委員會ニ於テ御質問ガアッタナラバ、政府委員ヨリ御答ラシマセウ、ソレカ

ラ銑鐵其他ノ品目ニ付キマシテハ、其各所管省ニ於テハ能ク専門的ニ調ベタノデアラ、故ニソレニ對シテノ御答ハ、其各ノ所管大臣カラ申上ゲル方ガ宜ノデアリマシテ、大藏大臣トシテハ其處マデハ研究シナリ、斯ウ云フ品物ニ付テ今度ノ稅ト云フモノハ國內產ヲ保護スルト云フ意味ハ無論含ンデアル、其見地カラシテ斯ウ云フ物ハ稅ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、一應其所管當局ノ意見ニ重キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ、ソレダカラ是ハ其各所管當局ニ就テ御尋ニナタラ宜カラウソレカラ「當分」ト云フコトニ付テ又今度ノ通常議會ニ改メテ出ス積リカト云フヤウナ御尋デアリマスルガ、我國ニハ關稅調查委員會ト云フモノガ當設サレテアリマス、隨テ時々此委員會ニ掛ケテ關稅ヲ動カシテ居ル、既ニ濱口内閣、濱口氏カ立案シマシタ贊澤品關稅法、矢張リ之ニモ「當分ノ内」ト云フ文字ガ使テアル、是ハ殆ド法律ノ用語ニナツテ居ル、是ハ屢々變ルノデアリマス、併ナガラ次ノ通常議會ニ於テ更ニ此關稅法ノ改正ヲ出ストカ出サヌトカ云フコトハ、御尋ガアッテモソレハ私ガ此處デ明ニト云フ御答スルコトハ出來ナイ、唯「當分」ト云フ意味ハサウ云フ意味ナノデス、ソレダケ御答ラシテ置キマス(拍手)

(國務大臣男爵中島久萬吉君登壇)

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今中島彌團次君カラ今回ノ銑鐵關稅引上ニ付キマ件、ソレカラ我國ノ銑鐵事業ノ設備ガ改善セラレテ居ルヤ否ヤ、其他日本——本邦ニ對スル影響ト云フガ如キ諸點ニ付キマシテハ、之ヲ委員會ニ於テ御說明申上ゲル方ガ妥當ト信ジマスカラ、私ハ極ク御質問ノ

大綱デゴザイマシタ、銑鐵業ニ對スル根本ノ御質問ノ趣旨ニ對シマシテ、簡單ニ御答エ、斯ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、管大臣カラ申上ゲル方ガ宜ノデアリマスル、故ニソレニ對シテノ御答ハ、其各ノ所管大臣カラ申上ゲル方ガ宜ノデアリマシテ、大藏大臣トシテハ其處マデハ研究シナリマシタガ、私モ亦銑鐵業ニ對スル國家ノノハ國內產ヲ保護スルト云フ意味ハ無論含ンデアル、其見地カラシテ斯ウ云フ物ハ稅ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、一應其所管當局ノ意見ニ重キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ、ソレダカラ是ハ其各所管當局ニ就テ御尋ニナタラ宜カラウソレカラ「當分」ト云フコトニ付テ又今度ノ通常議會ニ改メテ出ス積リカト云フヤウナ御尋デアリマスルガ、我國ニハ關稅調查委員會ト云フモノガ當設サレテアリマス、隨テ時々此委員會ニ掛ケテ關稅ヲ動カシテ居ル、既ニ濱口内閣、濱口氏カ立案シマシタ贊澤品關稅法、矢張リ之ニモ「當分ノ内」ト云フ文字ガ使テアル、是ハ殆ド法律ノ用語ニナツテ居ル、是ハ屢々變ルノデアリマス、併ナガラ次ノ通常議會ニ於テ更ニ此關稅法ノ改正ヲ出ストカ出サヌトカ云フコトハ、御尋ガアッテモソレハ私ガ此處デ明ニト云フ御答スルコトハ出來ナイ、唯「當分」ト云フ意味ハサウ云フ意味ナノデス、ソレダケ御答ラシテ置キマス(拍手)

(國務大臣男爵中島久萬吉君登壇)

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今中島彌團次君カラ今回ノ銑鐵關稅引上ニ付キマ件、ソレカラ我國ノ銑鐵事業ノ設備ガ改善セラレテ居ルヤ否ヤ、其他日本——本邦ニ對スル影響ト云フガ如キ諸點ニ付キマシテハ、之ヲ委員會ニ於テ御說明申上ゲル方ガ妥當ト信ジマスカラ、私ハ極ク御質問ノ

大綱デゴザイマシタ、銑鐵業ニ對スル根本ノ御質問ノ趣旨ニ對シマシテ、簡單ニ御答エ、斯ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、木材ガ内地ノ木材ヲ壓迫スルデナカニカ、ソレヲ除カズシテ關稅ヲ米材ニ課ケルト云フコトハドウ云フ譯デアルカ、斯ウ云フ御稅ヲ申上ゲテ置キマス(拍手)

中島君ハ此銑鐵業ニ對スル保護ガ如何ニ、斯ウ云フ品物ニ付テ今度ノ稅ト云フモノハ國內產ヲ保護スルト云フ意味ハ無論含ンデアル、其見地カラシテ斯ウ云フ物ハ稅ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、一應其所管當局ノ意見ニ重キヲ置イテ考ヘナケレバナラヌ、ソレダカラ是ハ其各所管當局ニ就テ御尋ニナタラ宜カラウソレカラ「當分」ト云フコトニ付テ又今度ノ通常議會ニ改メテ出ス積リカト云フヤウナ御尋デアリマスルガ、我國ニハ關稅調查委員會ト云フモノガ當設サレテアリマス、隨テ時々此委員會ニ掛ケテ關稅ヲ動カシテ居ル、既ニ濱口内閣、濱口氏カ立案シマシタ贊澤品關稅法、矢張リ之ニモ「當分ノ内」ト云フ文字ガ使テアル、是ハ殆ド法律ノ用語ニナツテ居ル、是ハ屢々變ルノデアリマス、併ナガラ次ノ通常議會ニ於テ更ニ此關稅法ノ改正ヲ出ストカ出サヌトカ云フコトハ、御尋ガアッテモソレハ私ガ此處デ明ニト云フ御答スルコトハ出來ナイ、唯「當分」ト云フ意味ハサウ云フ意味ナノデス、ソレダケ御答ラシテ置キマス(拍手)

(國務大臣男爵中島久萬吉君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 中島君ノ私ニ對スル御質問ニ御答致シマス、第一ハ木材ノ



○栗原彥三郎君 私ハ本案ニ關聯致シマシテ極ク簡單ニ質疑ヲ致シタトイト思フ者デアリマス、諸君、昨年滿洲國ノ綿織物竝ニ綿織物等ノ移入輸入ノ總額ハ大連、牛莊、安東縣竝ニ哈爾賓ノ四箇所ノ海關管區内ノモノヲ合シマシテ、其總額ハ五千九百九十二萬一千圓デアリマシテ、其中綿織物ハ四千九百九十八万四千圓デアリ、更ニ又綢織物或ハ人造綢絲ノ織物、或ハ綢綃交織品ト申シマスルヤウナモノガ、實ニ九百九十三万七千圓ト云フ額ニ上づテ居ルノデアリマス諸君、我國ノ地理的關係カラ致シマシテモ、亦運輸交通ノ點カラ致シマシテモ、亦滿洲國內ニアリマシテハ支那内地ホド排日排貨ノ運動ガ盛デナカバタト云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、我ガ日本帝國ノ製品ハ相當ニ滿洲ニ輸入サレテ居ラナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ滿洲ノ實際ニ付テ調查致シマスルト、日本ノ製品ト云フモノハ僅ニ一小部分ニ過ギナイデ、大體ハ滿洲ノ主要市街地ノ「デパート」等ニ就テ調査ヲ致シマスルト、或ハ上海、或ハ杭州或ハ蘇州、或ハ天津、或ハ盛澤鎮——廣東ニモアリマスルガ、サウ云フヤウナ場所ノ支那人ノ工場ニ於テ製造セラレタ物ガ大體デアリマシテ、日本ノ物ハ實ニ寂々寥々デアリマス、殊ニ滑稽ナノハ支那ノ上海ニモ、杭州ニモ、蘇州ニモ「ルチーバリス」ト云フ新ラシイ最高級ノ織物機械ガナイノニモ拘ラズ、此機械ヲ以テ製造致シマシタ、一寸ガ七百回若クハ九百回ノ燃ヲ加ヘマシタ所ノ最高級ノ織物ガ、麗々ト上海何々電力廠製ト云フ「レツテル」、デ賣ラレテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、然ラバ何故日本ノ品物ガ行カナイノデアルカト斯ウ考究致シマスルト、只今滿洲國ニ於テ行ハレテ居リマスルノデアリマシテ、支那ノ製品ニ對シテハ僅ニ五分ノ釐金稅ガ課ケラレテ居ルダケデ

アツテ、日本ノ内地デ製造シタ織物ニ對シテハ、品種ニ依テ多少ノ差ハアリマスルケレドモ、大體ニ於テ二割或ハ二割五分ト云フ重稅ガ課ケラレテ居ルノデアリマス、諸君ノ中ニハ御嗤ヒニナルヤウナ不眞面目ナ御方モアルヤウデゴザイマスルケレドモ、日本ノ織物工業者ノ現狀ト云フモノガ、冷眼ヲ以テ之ヲ視ルヤウナ現狀デアリマスカ、諸君、織物業者ノ狀態ハ、或ハ農村ノ人々ノソレノ如ク淘ニ御氣ノ毒ナ狀態ニアリマシテ、或ハ轉業シ、或ハ休業シ、或ハ破產ノ運命ニ陥ラナケレバナラナイト云フ者ガ、日ニ幾十ヲ以テ數フルト云フ悲慘ナル狀態ニアルノデアリマス、此故ニ滿洲國ニ於ケル稅法ガ改正セラレテ、日本ノ織物ガ自由ニ滿洲ニ這入シテ行クヤウニシタイト云フ希望ハ、日本ノ織物業者ガ大旱ノ雲霓ノ如ク望ンデ居ル所デアリマス、殊ニ滿洲國ノ要人ニ於キマシテハ、若シ日本ガ織物ニ關スル所ノ關稅ノ改正ヲ希望スルト云フ意思ガアレバ何時デモ協商ノ上ニ、新タル滿洲國ノ關稅法ヲ制定シテ、日本ノ希望ニ應ズルダケノ覺悟ト用意ガアルト云フコトヲ明致シマス、市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ニ依リマシテ、町村ノ地域ヲ市ニ屬セメマシタ場合ニ於キマシテ、新ニ市ニ屬スルニ至ゞタ地域、之ニ付テハ從來町村トシテマセヌ、根本政策ヲ速ニヤッテ載キタインデアリマスルカラ、斯様ナ問題ハ出來ルダケ速ニ御處置セラレンコトヲ希望致シテ置キマス

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ、日程第十四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○上田孝吉君 兩案ヲ一括シテ議長指名十人八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十五市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——文部大臣鳩山一郎君

第十五 市町村義務教育費市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案

○上田孝吉君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十七ハ都合ニ依リマシテ後廻シト致シマス

針ハ昨日大體速ベマシタ通リデアリマス、御質問ノ如キ關稅其他ノコトニ付キマシテハ、未だ之ヲ此處ニ御答辯致ス時機ニ到達シテ居リマセヌ、暫ク其積リデドウゾ御待チヲ願ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 一寸自席デ簡単ニ……

○栗原彥三郎君 只今ノ總理大臣ノ御答辯ノ要旨ハ大體該案が決定シテカラデナケレル大體ノ國策ガ決定シテカラデナケレバ、織物ニ關スル問題が決定シナイト云フ

スル大體ノ國策ガ決定シテカラデナケレバ、織物ニ關スル問題が決定シナイト云フノ要旨ハ大體該案が決定シナイト云フ

○國務大臣(鳩山一郎君) 提案ノ理由ヲ説明致シマス、市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ニ依リマシテ、町村ノ地域ヲ市ニ屬セメマシタ場合ニ於キマシテ、新ニ市ニ屬スルニ至ゞタ地域、之ニ付テハ從來町村トシテマセヌ、根本政策ヲ速ニヤッテ載キタインデアリマスルカラ、斯様ナ問題ハ出來ルダケ速ニ御處置セラレンコトヲ希望致シテ置キマス

### 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (國務大臣鳩山一郎君登壇)

地域ニシテ新ニ市ニ屬シタル部分ヲ町村ト看做シ同條ノ規定ニ依リテ町村ノミニマムニ付託セラレンコトヲ望ミマス

ト看做シ同條ノ規定ニ依リテ町村ノミニマムニ付託セラレンコトヲ望ミマス

交付スル國庫支出金ヲ當該市ニ交付スルコトヲ得

日程第十九、柳河軌道株式會社所屬軌道 補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ第一讀 會ヲ開キマス——鐵道大臣三土忠造君	第十九 柳河軌道株式會社所屬軌道 補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案 （政府提出）	柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲 公債發行ニ關スル法律案
政府ハ柳河軌道株式會社所屬軌道ノ經營 廢止ニ對スル補償ノ爲額面二十二萬九千 四百圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得 （國務大臣三土忠造君登壇）	○國務大臣（三土忠造君） 提案ノ理由ヲ簡 單ニ申上ゲマス、九州門司、鹿兒島線ノ中 ノ福岡縣下ノ一驛矢部川カラ柳河ニ至リマ スル所謂柳河軌道鐵道ガアルノアリマス、是 ト並行ニ鐵道省ノ省線矢部川カラ佐賀ニ至 リマスル線ノ、矢部川カラ柳河ニ至リマス ル部分ガ、昨年九月二十四日完成、營業開 始ヲ致シマシタ結果トシテ、柳河軌道株式 會社ノ同ジ並行線ニナリマス部分ノ營業狀 態ガ非常ニ惡クナリマシタ、此軌道ハ餘程 收益モ好カズノデアリマスガ、政府ノ並行 線ガ完成致シマシタ爲ニ、急激ニ打擊ヲ蒙 テ、僅ニ百五十日間ニ六割四分ノ減收ヲ來 シテ、無配トナフテシマッタノデアリマス、 仍テ地方鐵道法及軌道法ニ依リマシテ、之 ニ對シテ補償ヲ與ヘンケレバナラヌ、其補 償ヲ與ヘマス爲ニ、公債ヲ發行スルト云フ ノガ、此法律案ノ目的アリマス、何卒御 審議ノ上御協贊アランコトヲ希望致シマス (拍手)	○議長（秋田清君） 質疑ノ通告ハアリマセ ヌ——日程第二十、右議案ノ審査ヲ付託ス ヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○上田孝吉君 本案ハ國務大臣後藤文夫君 付託セラレントヨリミマス	第一讀會 （政府提出）	第一讀會 遠洋漁業獎勵法中改正法律案
○議長（秋田清君） 上田君ノ動議ニ御異議 アリマセヌカ	第一讀會 遠洋漁業獎勵法中改正法律案	第一條 政府ハ遠洋漁業ヲ獎勵スル爲每 年豫算ヲ以テ定ムル金額ノ範圍内ニ於 テ獎勵金ヲ下付シ其ノ他必要ナル費用 ヲ支出ス

○議長（秋田清君） 第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム 主務大臣ハ遠洋漁船検査規程ニ適合シ タル日本船舶ヲ新造シ又ハ遠洋漁船檢 查規程ニ適合シタル日本船舶ニ命令ヲ 以テ定ムル設備ヲ施シタル船舶所有者 ニ對シ左ノ區別ニ從ヒ漁船獎勵金ヲ下 付スルコトヲ得但シ計畫總額數百噸以 上ノ鋼製ノ船舶ニ在リテハ第一號ノ規 程ニ拘ラズ船舶ノ評價額ノ百分ノ二十 以内ノ漁船獎勵金ヲ下付スルコトヲ得 得	第一條 政府ハ遠洋漁業獎勵法中改正法律案 （國務大臣後藤文夫君登壇）	第一條 政府ハ遠洋漁業獎勵法中改正法律案 （國務大臣後藤文夫君登壇）
第一條 第二項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠 洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム	第一條 第二項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠 洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム	第一條 第二項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠 洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム

○議長（秋田清君） 第十一條第一項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠 洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム	○議長（秋田清君） 第十一條第一項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠 洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム	○議長（秋田清君） 第十一條第一項中「遠洋漁船船員」ヲ「遠 洋漁船ノ船員若ハ船匠」ニ改ム
第一讀會 （國務大臣後藤文夫君登壇）	第一讀會 （國務大臣後藤文夫君登壇）	第一讀會 （國務大臣後藤文夫君登壇）

